明治四十年寮歌

一帯ゆるき

田中義麿君 作歌

高松正信君 作曲

明治四十年寮歌

一帯ゆるき

田中義麿君 作歌

高松正信君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十年寮歌

一帯ゆるき

田中義麿君 作歌
高松正信君 作曲

一

一帯(いったい)ゆるき石狩(いしかり)の
源遠(みなもとはる)く霞罩(かすみこ)め
五彩(ごさい)を染(そ)むる夕照(ゆふやけ)は
手稲(ていね)の夏(なつ)の栄(はえ)にして
そこに無限(むげん)の恩寵(めぐみ)あり
是吾校(これわがかう)の在(あ)る処(ところ)

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

明治四十年寮歌

一帯ゆるき

田中義麿君 作歌
高松正信君 作曲

二

胡沙吹く風に秋闌けて
黄葉散りしく牧場千里
満野の吹雪叱咤する
エルムの姿壮なれや
そこに無限の偉力あり
是吾寮の在る処



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ



明治四十年寮歌

一帯ゆるき

田中義麿君 作歌
高松正信君 作曲

三

偲(おも)へば遠(とほ)き三十年(みそとせ)の
榛莽(しんまう)あしたの日(ひ)を蔽(おほ)ひ
ゆふべの月(つき)に羆(くまほ)吼ゆる
北海(ほくかい)の野(の)に鋤(すき)入れて
偉人(いじん)が植(う)ゑし桜花(さくらばな)
薫(かほり)は高(たか)し千万古(せんばんこ)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十一年寮歌

太虚の齢

田中義麿君 作歌

早川直瀬君・前川徳次郎君 作曲

明治四十一年寮歌

太虚の齢

田中義麿君 作歌

早川直瀬君・前川徳次郎君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十一年寮歌

太虚の齢

田中義麿君 作歌

早川直瀬君・前川徳次郎君 作曲

一

太虚(たいきょ)の齢(れい)は知(し)らねども
興廃(こうはい)うつる人(ひと)の世(よ)の
文化(ぶんか)の跡(あと)は四千年(しせんねん)
ありし往昔(むかし)を温(たづ)ね来(き)て
吾(わ)が世(よ)の状態(さま)を眺(なが)むれば
希望栄(のぞみはえ)ある前途(ゆくて)かな







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十一年寮歌

太虚の齢

田中義麿君 作歌

早川直瀬君・前川徳次郎君 作曲

二

嘗(かつ)てナイルの河水(かわみず)に
偉影(いえいひた)涵せし金字塔(きんじとう)
アテネの春(はる)も夢(ゆめ)なれや
ローマの紅紫(こうし)また散(ち)りて
欧米(おうべい)の空(そらいままさ)今正に
文化(ぶんか)の花(はな)ぞ盛(さかり)なる



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十一年寮歌

太虚の齢

田中義麿君 作歌

早川直瀬君・前川徳次郎君 作曲

三

偉大(いだい)ならずや雪潔(ゆききよ)き
ヒマラヤ山下風(さんかかぜかほ)薫り
四百余州(しひゃくよしう)に吹(ふ)き入(い)れば
聖賢雲(せいけんくも)と叢起(そうき)して
深(ふか)き思想(おもひ)は東洋(とうよう)の
青史(せいし)不朽(ふきう)の誇(ほこり)あり







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十一年寮歌

太虚の齢

田中義麿君 作歌

早川直瀬君・前川徳次郎君 作曲

六

猛き心の往くところ
虎狼鮫鰐ものならず
テキサス鍬を入るる可く
シベリヤ斧を振ふ可し
故人の教訓膺にせよ
「ビーアンビシァスボーイズ」と







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十二年寮歌

希望の光

加藤茂雄君 作歌

金原善知君 作曲

明治四十二年寮歌

希望の光

加藤茂雄君 作歌

金原善知君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十二年寮歌

希望の光

加藤茂雄君 作歌
金原善知君 作曲

一

希望の光仰ぎつつ
思へば友と尋ね来し
山は紅朝日子の
燃ゆる姿に似たる哉
嘶く駒は秋に肥え
我等が門出栄ありき







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十二年寮歌

希望の光

加藤茂雄君 作歌
金原善知君 作曲

六

四年の昔人々の（よとせのむかしひとびとの）
転り建てし我が寮に（くさぎりたてしわがれう）
春立ち還る時よ今（はるたちかへるときよいま）
希望の光新なり（きぼうのひかりあらたなり）
さらば起て友諸共に（さらばたてとももろともに）
我等起つべき時なれば（われらたつべきときなれば）



Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

明治四十三年寮歌

帝都を北に

谷村愛之助君 作歌

柳沢秀雄君 作曲

明治四十三年寮歌

帝都を北に

谷村愛之助君 作歌

柳沢秀雄君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十三年寮歌

帝都を北に

谷村愛之助君 作歌
柳沢秀雄君 作曲

一

帝都(ていと)を北(きた)に三百里(さんびゃくり)
津軽(つがる)の海(うみ)を越(こ)え来(く)れば
紅塵絶(こうじんた)えて空潔(そらきよ)く
蕭々(せうせう)として水寒(みずさむ)し
大陸(たいりく)の精鍾(せいあつ)まりて
我北州(わがほくしう)の島(しま)と凝(こ)る



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十三年寮歌

帝都を北に

谷村愛之助君 作歌
柳沢秀雄君 作曲

四

朝霧深き野の面に
嘶く駒の跡追へば
露の白玉散り乱る
甘藍の畑たそがれて
プラウの土を払ふ時
農牧の幸謳ふかな







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十三年寮歌

帝都を北に

谷村愛之助君 作歌
柳沢秀雄君 作曲

六

此聖都(このせいと)を永久(とこしへ)に
浮華軽佻(ふかけいてう)の国(くに)とせず
真摯素樸(しんしそぼく)の郷(きやう)となし
我等(われら)が使命(しめいな)成し遂(と)げん
真理(しんり)の秘奥(ひおうさぐ)探る可(べ)く
道義(どうぎ)の光照(ひかりてら)す可(べ)く



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十四年寮歌

藻岩の緑

松山茂助君 作歌

柳沢秀雄君 作曲

明治四十四年寮歌

藻岩の緑

松山茂助君 作歌

柳沢秀雄君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十四年寮歌

藻岩の緑

松山茂助君 作歌
柳沢秀雄君 作曲

一

藻岩(もいわ)の緑(みどり)春闌(はるたけ)て
万朶一朶(ばんだいちだ)の朝霞(あさがすみ)
憧憬彩(あこがれあや)と流(なが)れては
花皆奇(はなみなく)しき香(か)ならずや
若(わか)き血潮(ちしほ)の踊(おど)る時(とき)
希望(きぼう)の前途(ぜんと)光(ひかり)あり

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

明治四十四年寮歌

藻岩の緑

松山茂助君 作歌
柳沢秀雄君 作曲

二

青葉波(あおばなみ)よるアカシヤの
薫(かを)る木影(こかげ)に立(た)ちよれば
長風夏(ちゃうふうなつ)の雲(くも)ゆらぎ
秋(あき)は牧場(まきば)の夕(ゆふ)まぐれ
鐘声止(しょうせいや)みて今暫(いましば)し
牛(うし)の背(せ)に散(ち)る蔦紅葉(つたもみぢ)

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

明治四十四年寮歌

藻岩の緑

松山茂助君 作歌
柳沢秀雄君 作曲

三

あはれ「美の国」石狩の
自然を己が揺籃に
おほし立つ可き人皆の
意気紅霓に似たるかな
一撃万里す大鵬の
翼整装ふ思あり

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

明治四十四年寮歌

藻岩の緑

松山茂助君 作歌
柳沢秀雄君 作曲

四

斗南(となん)の翼(つばさひろ)拡げては
天地(てんちひろ)広しと誰(だれ)か云(い)ふ
雲(くも)より高(たか)きアンデスの
裾野(すその)に友(とも)よ羊逐(ひつじお)へ
天(てん)に漲(みなぎ)るアマゾンの
岸辺(きしべ)の森(もり)に斧(おの)を振(ふ)れ



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十五年寮歌

都ぞ弥生

横山芳介君 作歌

赤木顕次君 作曲

明治四十五年寮歌

都ぞ弥生

横山芳介君 作歌

赤木顕次君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十五年寮歌

都ぞ弥生

横山芳介君 作歌
赤木顕次君 作曲

一

都ぞ弥生の雲紫に
花の香漂ふ宴遊の筵
尽きせぬ奢に濃き紅や
その春暮れては移らふ色の
夢こそ一時青き繁みに
燃えなん我胸想ひを載せて
星影冴かに光れる北を
人の世の清き国ぞとあこがれぬ



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

明治四十五年寮歌

都ぞ弥生

横山芳介君 作歌
赤木顕次君 作曲

二

豊(ゆた)かに稔(みの)れる石狩(いしかり)の野(の)に
雁(かりがね)遥々(はるばる)沈(しず)みてゆけば
羊群声(やうぐんこえ)なく牧舎(ぼくしゃ)に帰(かへ)り
手稲(ていね)の嶺(いただき) 黄昏(たそがれ)こめぬ

雄々(おお)しく聳(そび)ゆる楡(エルム)の梢(こずえ)
打振(うちふ)る野分(のわき)に破壊(はゑ)の葉音(はおと)の
さやめく 甍(いらか)に久遠(くをん)の光(ひか)り
おごそかに北極星(ほくきょくせい)を仰(あお)ぐ哉(かな)

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

明治四十五年寮歌

都ぞ弥生

横山芳介君 作歌
赤木顕次君 作曲

三

寒月懸(かんげつかか)れる針葉樹林(しんようじゅりん)
橇(そり)の音凍(ねこほ)りて物皆寒(ものみなさむ)く
野(の)もせに乱(みだ)るる清白(せいはく)の雪(ゆき)
沈黙(しじま)の暁(あかつき)霏々(ひひ)として舞(ま)ふ
ああその朔風飆々(さくふうへうへう)として
荒(すさ)ぶる吹雪(ふぶき)の逆巻(さかま)くを見(み)よ
ああその蒼空(さうくうこずえ)梢聯(つら)ねて
樹氷(じゅひょう)咲(さ)く壮麗(そうれい)の地(ち)をここに見(み)よ

北海道大学恵迪寮

Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

明治四十五年寮歌

都ぞ弥生

横山芳介君 作歌
赤木顕次君 作曲

四

牧場(まきば)の若草陽炎燃(わかくさかげろふも)えて
森(もり)には桂(かつら)の新緑萌(しんりよくきざ)し
雲(くも)ゆく雲雀(ひばり)に延齢草(えんれいそう)の
真白(ましろ)の花影(はなかげ)さゆらぎて立(た)つ
今(いま)こそ溢(あふ)れぬ清和(せいわ)の陽光(ひかり)
小河(おがわ)の渕(ほとり)をさまよひゆけば
うつくしからずや咲(さ)く水芭蕉(みづばせう)
春(はる)の日(ひ)のこの北(きた)の国幸多(くにさちおほ)し

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

明治四十五年寮歌

都ぞ弥生

横山芳介君 作歌
赤木顕次君 作曲

五

朝雲流れて金色に照り
平原果てなき 東の際
連なる山脈玲瓏として
今しも 輝く紫紺の雪に
自然の藝術を 懐みつつ
高鳴る血潮のほとばしりもて
貴とき野心の訓へ 培ひ
栄え行く我等が寮を誇らずや



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

楡陵謳春賦

吾等が三年を契る絢爛の
その饗宴はげに過ぎ易し。
然れども見ずや穹北に
瞬く星斗永久に曇りなく、
雲とまがふ万朶の桜花
久遠に萎えざるを。
寮友よ徒らに
明日の運命を歎かんよりは
楡林に篝火を焚きて、
去りては再び帰らざる
若き日の感激を謳歌はん。

※ 楡陵謳春賦は
昭和十一年寮歌「嗚呼茫々の」
（宍戸昌夫君 作歌）より

楡陵謳春賦

吾等が三年を契る絢爛の
その饗宴はげに過ぎ易し。
然れども見ずや穹北に
またたと瞬く星斗永久に曇りなく、
雲とまがふ万朶の桜花
久遠に萎えざるを。
寮友よ徒らに
明日の運命を歎かんよりは
楡林に篝火を焚きて、
去りては再び帰らざる
若き日の感激を謳歌はん。

※ 楡陵謳春賦は
昭和十一年寮歌「嗚呼茫々の」
（宍戸昌夫君 作歌）より

楡陵謳春賦

※ 楡陵謳春賦は
昭和十一年寮歌「嗚呼茫々の」
（宍戸昌夫君 作歌）より

楡陵謳春賦

吾等(われら)が三年(みとせ)を契(ちぎ)る絢爛(けんらん)の
その饗宴(うたげ)はげに過(す)ぎ易(やす)し。
然(しか)れども見(み)ずや穹北(きゅうほく)に
瞬(またた)く星斗永久(せいとはて)に曇(くも)りなく、
雲(くも)とまがふ万朶(ばんだ)の桜花(おうか)
久遠(くをん)に萎(な)えざるを。

※ 楡陵謳春賦は
昭和十一年寮歌「嗚呼茫々の」
（宍戸昌夫君 作歌）より

楡陵謳春賦

寮友(ともどち)よ徒(いたづ)らに
明日(あす)の運命(さだめ)を歎(なげ)かんよりは
楡林(ゆりん)に篝火(かがりび)を焚(た)きて、
去(さ)りては再(ふたた)び帰(かえ)らざる
若(わか)き日(ひ)の感激(かんげき)を謳歌(うた)はん。

※ 楡陵謳春賦は
昭和十一年寮歌「嗚呼茫々の」
（宍戸昌夫君 作歌）より

大正二年寮歌

幾世幾年

木原均君 作歌

柳沢秀雄君 作曲

大正二年寮歌

幾世幾年

木原均君 作歌

柳沢秀雄君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正二年寮歌

幾世幾年

木原均君 作歌
柳沢秀雄君 作曲

一

幾世幾年(いくよいくとせ)流(なが)れけん
永劫隔(えいごふへだ)つ後(のち)までも
洋々声(やうやうこえ)なく野(の)をこえて
銀河(ぎんが)に似(に)たる石狩(いしかり)の
岸辺静(きしべしづ)けき夕(ゆふ)まぐれ
導(みちび)く星(ほし)を仰(あふ)がずや







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正二年寮歌

幾世幾年

木原均君 作歌
柳沢秀雄君 作曲

五

一百意気みつ北蝦夷の
健児よいざや奪ひ起て
白き朔風われにあり
曠野に練へし心身も
歌へ壮なる勝歌を
島根に高く勇ましく



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正三年寮歌

我が運命こそ

樋口桜五君 作歌

赤木顕次君 作曲

大正三年寮歌

我が運命こそ

樋口桜五君 作歌

赤木顕次君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正三年寮歌

我が運命こそ

樋口桜五君 作歌

赤木顕次君 作曲

一

我が運命こそ青渦わける
千ひろの海の真珠取り
美想にあこがるる身は
驕楽の春に酔ひしれて
戯る人を夢とはみつつ
逆まく波を聞きゆく







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正三年寮歌

我が運命こそ

樋口桜五君 作歌
赤木顕次君 作曲

二

永遠(とは)に華(はな)さく水底(みなそこ)ふかく
神秘(くしび)の巌(いは)に嫦娥(つきひめ)の
露(つゆ)のしづくの真珠(しらたま)また
掌(て)に獲(え)し光栄(はえ)と喜悦(よろこび)と
七重(ななへ)の潮(しほ)の妙音(たへね)にひびく
美珠(たま)こそわれの生命(いのち)なれ

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正三年寮歌

我が運命こそ

樋口桜五君 作歌

赤木顕次君 作曲

三

薫る樹陰に花仄みえて
朧おぼろの春の宵
一壺の酒の汲む夢淡く
心の酔に舞歌を
社会高くしらべ祝はむ
君瑞祥の歳なれや







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正三年寮歌

我が運命こそ

樋口桜五君 作歌
赤木顕次君 作曲

四

彩雲低く恵の家に
幸漂蕩ひてゆく水や
姿うるほす柳の萠黄
契りゆかしき春鳥の
団欒の音をばうつし伝へむ
遠くはるけき師の君に







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正四年寮歌

時轍乾坤に

沢田退蔵君 作歌・作曲

大正四年寮歌

時轍乾坤に

沢田退蔵君 作歌・作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正四年寮歌

時轍乾坤に

沢田退蔵君 作歌・作曲

一

時轍乾坤に回り来て
陽春駘蕩のおぼろよひ
紫 淡く霞罩め
自治の流れは永遠に
若葉の陰を浮べつつ
吾等が幸を祝ふらん



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正四年寮歌

時轍乾坤に

沢田退蔵君 作歌・作曲

二

胡馬北風に嘶きて
越鳥南枝に巣を造る
世の濁江に逆へる
棹歌の声の勇ましき
三星霜の春のおきふしに
深き感慨のなからめや







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正四年寮歌

時轍乾坤に

沢田退蔵君 作歌・作曲

五

ウラルの彼方風凄く
陣雲くらき八街は
鉄騎百万駆りつつ
正義の光失する時
燃ゆる義憤を胸に秘め
起て自治寮の健男児







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正四年寮歌

時轍乾坤に

沢田退蔵君 作歌・作曲

六

自由(じいう)の旗(はた)を振(ふ)り翳(かざ)し
平和(へいわ)の楯(たて)を掻(か)き列(つら)ね
吾等(われら)起(た)つべき時(とき)は来(き)ぬ
見(み)よや獅子王(ししおう)一吼(いっこう)して
曠野(くわうや)虎狼(こらう)の影(かげ)もなし
祝(いは)へ今宵(こよひ)の記念祭(きねんさい)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正五年南寮寮歌

穹蒼高く

長崎次郎君 作歌

黒住須賀夫君 作曲

大正五年南寮寮歌

穹蒼高く

長崎次郎君 作歌

黒住須賀夫君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正五年南寮寮歌

穹蒼高く

長崎次郎君 作歌
黒住須賀夫君 作曲

一

穹蒼高く夜は深く
沈黙の森に聳えたつ
桂の梢指すところ
北斗の冴に君見ずや
「吾が若人よ汝が野心
われにかも似て崇くあれ」



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ



大正五年南寮寮歌

穹蒼高く

長崎次郎君 作歌

黒住須賀夫君 作曲

二

荒ぶ吹雪のもだすとき
六片の花咲くところ
皎たる天地塵絶えて
塞つる力を君よ知れ
「吾が若人よ北の曠野に
身を練り魂を磨かずや」



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正五年南寮寮歌

穹蒼高く

長崎次郎君 作歌
黒住須賀夫君 作曲

三

谷間の百合の香のゆらぎ
楡の若葉に陽はこぼる
春の息吹に渡り行く
時鐘の響に君よ聴け
「吾が若人よ石狩は
自由の郷土ぞ幸多き」



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

大正五年北寮寮歌

荒潮繞る

桜井芳次郎君 作歌

橋本吉郎君 作曲

大正五年北寮寮歌

荒潮繞る

桜井芳次郎君 作歌

橋本吉郎君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正五年北寮寮歌

荒潮繞る

桜井芳次郎君 作歌

橋本吉郎君 作曲

一

荒潮繞る北の郷
絢爛の時いと高く
看よ極光に照らされて
夢にまどろむ春の精







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正五年北寮寮歌

荒潮繞る

桜井芳次郎君 作歌

橋本吉郎君 作曲

二

嗚呼感激の経営を
矜る血潮に求め来て
十一の年の旦暮は
澄明の府霊清し







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正五年北寮寮歌

荒潮繞る

桜井芳次郎君 作歌

橋本吉郎君 作曲

三

夏の日悠然(なつのひのどか)に石狩(いしかり)の
浩蕩(かうたう)の水煌(みづきら)めきて
流光高(りゅうこうたか)く際涯(はてし)なき
自然(しぜん)の業(わざ)を畏(おそ)れずや

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

大正五年北寮寮歌

荒潮繞る

桜井芳次郎君 作歌

橋本吉郎君 作曲

四

夕暮呼ばふ閑古鳥（ゆふぐれよ　かんこどり）
冥想ここに始めよと（めいさう　はじ）
遠鳴くなべも紅葉しつ（とほな　もみぢ）
稜畳として唐錦（りょうでふ　からにしき）







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正五年北寮寮歌

荒潮繞る

桜井芳次郎君 作歌

橋本吉郎君 作曲

五

北風胡沙(きたかぜこさ)に雪(ゆき)を捲(ま)き
荒(あ)れ狂(くる)ひたる戦場(こば)の跡(あと)
暮(く)れ行(ゆ)く蛮霧(もや)に包(つつ)まれて
白銀(しろがね)の都(みやこ)今静(いましづ)か







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正五年北寮寮歌

荒潮繞る

桜井芳次郎君 作歌

橋本吉郎君 作曲

六

清(きよ)けき永久(とは)の霊泉(れいせん)の
至福(しふく)の水(みづ)を掬(むす)ぶ可(べ)く
黄金(こがね)の甕(もたひま)守りつつ
調新(ふしあたら)しく唱(うた)はなん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正五年北寮寮歌

荒潮繞る

桜井芳次郎君 作歌

橋本吉郎君 作曲

七

智慧(ちゑ)の光(ひかり)に導(みちび)かれ
熱(ねつ)の磅礴(ほうはく)に生立(おひた)ちて
潔(きよ)き生活(いのち)の道(みち)すがら
曲勇(ふしいさ)ましく唱(うた)はなむ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正六年寮歌

魔神の呪

佐藤惣之助君 作歌

植村泰二君 作曲

大正六年寮歌

魔神の呪

佐藤惣之助君 作歌

植村泰二君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正六年寮歌

魔神の呪

佐藤惣之助君 作歌
植村泰二君 作曲

一

魔神(まじん)の呪(のろい)アルペンの
白雪(はくせつ)永久(とは)に清(きよ)からず
見(み)よ永劫(えいごう)と誓(ちか)ひけん
平和(へいわ)の春(はる)は短(みじか)くて
吹(ふ)く凋落(ちょうらく)の秋風(あきかぜ)に
正義(せいぎ)の光影(ひかりかげ)くらし



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正六年寮歌

魔神の呪

佐藤惣之助君 作歌
植村泰二君 作曲

六

今宵楡影に団欒して
月影に酌む自治の宴
廻る盃 夜も更けて
北斗傾く玻璃の窓
いざ吾が友よ熟睡せむ
明日は人生の旅なれば







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正七年寮歌

花を褥

松本五六君 作歌

峰秀雄君 作曲

大正七年寮歌

花を褥

松本五六君 作歌

峰秀雄君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正七年寮歌

花を褥

松本五六君 作歌
峰秀雄君 作曲

一

花を褥の草枕
霞に暮るる野辺の春
ローマの晨ナイルの夕べ
栄華よあはれ夢の跡
傾く月に猶心せず

驕奢に酔ひし人々の
惰睡を破る雄叫や
健児義を取る北の国







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正八年寮歌

暗雲低く

熊谷巌君 作歌

置塩奇君 作曲

大正八年寮歌

暗雲低く

熊谷巌君 作歌

置塩奇君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正八年寮歌

暗雲低く

熊谷巌君 作歌
置塩奇君 作曲

一

暗雲低く乱れてし（あんうんひくみだ）
怨嗟の声の収まるや（ゑんさこゑをさ）
逆巻く波も和み来て（さかまなごき）
星影淡き東雲に（ほしかげあはしののめ）
平和の光朗々と（へいわひかりうらうら）
碧緑の海に輝きぬ（みどりうみかがや）



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ



北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正八年寮歌

暗雲低く

熊谷巌君 作歌
置塩奇君 作曲

六

いざや勝利(しょうり)の盃(さかづき)を
平和(へいわ)の女神(かみ)に捧(ささ)げつつ
右手(めて)に正義(せいぎ)の剣(けん)を執(と)り
左手(ゆんで)に自由(じいう)の楯(たて)を持(じ)し
若(わか)き血潮(ちしほ)の鳴(な)るがまま
祝(いは)ひ謳(うた)はん記念祭(きねんさい)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正九年寮歌

無窮の空に

戸田早苗君 作歌

藤田篤君 作曲

大正九年寮歌

無窮の空に

戸田早苗君 作歌

藤田篤君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正九年寮歌

無窮の空に

戸田早苗君 作歌

藤田篤君 作曲

一

無窮(むきゅう)の空(そら)に黎明(れいめい)の
崇高(けだか)き姿(すがた)天翔(あまかけ)り
新(あたら)しき日(ひ)は来(きた)れりと
万象(ばんしゃう)の歓声(こゑ)ひびく哉(かな)



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正九年寮歌

無窮の空に

戸田早苗君 作歌
藤田篤君 作曲

二

自由(じいう)の陽光(ひかり)かぐはしき
美花(はな)さく学園(その)に集(つど)ふとき
青春(せいしゅん)の日(ひ)にゆるされし
尊(たふと)きたから失(うしな)はじ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正九年寮歌

無窮の空に

戸田早苗君 作歌

藤田篤君 作曲

七

三年(みとせ)の夢(ゆめ)は淡(あは)くとも
長(なが)き旅路(たびぢ)のみちすがら
神秘(くしび)の森(もり)に迷(まよ)ひ入(い)る
尚(たか)き生命(いのち)と君(きみ)知るや







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十年寮歌

生命の争闘

青野正男君 作歌

小峰三千男君 作曲

大正十年寮歌

生命の争闘

青野正男君 作歌

小峰三千男君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十年寮歌

生命の争闘

青野正男君 作歌

小峰三千男君 作曲

一

生命(いのち)の争闘(いくさやぶ)敗れじと
雪解(ゆきげ)の野辺(のべ)に萌(も)え出(い)でし
浅緑(あさみどり)なる若草(わかくさ)の
伸展(のび)ゆく生命(いのち)思(おも)ふとき
若(わか)き力(ちから)のよろこびは
我等(われら)が胸(むね)に溢(あふ)るなり



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十年寮歌

生命の争闘

青野正男君 作歌

小峰三千男君 作曲

六

嗚呼北州の春秋に
自然の教訓学びつつ
尚き生命に生きなんと
精神を磨く友どちよ
先人建てし自治寮の
貴き歴史伝へかし







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十一年寮歌

起伏しらぬ

牧原東洋男君 作歌

高橋北雄君 作曲

大正十一年寮歌

起伏しらぬ

牧原東洋男君 作歌

高橋北雄君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十一年寮歌

起伏しらぬ

牧原東洋男君 作歌

高橋北雄君 作曲

一

起伏知らぬ運命こそ
時の流転の弧の上を
あはれ雪解のましみづに
流れて尽きぬ濁流よ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十一年寮歌

起伏しらぬ

牧原東洋男君 作歌
高橋北雄君 作曲

二

未知（みち）のひろ野（の）のかぎろひて
輝（かがや）くまでに萠（も）え出（い）でし
若（わか）き草木（くさき）のさゆらぎに
春深（はるふか）き日（ひ）の逍遙（さすらひ）や







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十一年寮歌

起伏しらぬ

牧原東洋男君 作歌

高橋北雄君 作曲

三

澄(す)みて雲(くも)なき空(そら)と野(の)を
かぎりて走(はし)る山並(やまなみ)に
高(たか)き心(こころ)のののきは
躍(おど)る血潮(ちしほ)の真夏(まなつ)日陽(ひ)よ



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十一年寮歌

起伏しらぬ

牧原東洋男君 作歌

高橋北雄君 作曲

四

銀(ぎん)の香炉(かうろ)にしのび雨(あめ)
楡(にれ)の繁(しげ)みに交(まじ)らへば
大天地(おほあめつち)も傾(かたむ)きて
命(いのち)かなしき秋(あき)なれや



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十一年寮歌

起伏しらぬ

牧原東洋男君 作歌

高橋北雄君 作曲

五

夜毎(よごと)にさゆる窓(まど)の星(ほし)

闇行(やみゆ)く橇(そり)の鈴(すず)の音(ね)に

真理(まこと)の水(みづ)の人(ひとむすび)掬

求(もと)めてやまぬ瞑想(めいさう)よ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十一年寮歌

起伏しらぬ

牧原東洋男君 作歌

高橋北雄君 作曲

六

深き安息の夢やすく
げに憧憬の地ここに
芸術の霊ぞただよへる
自由の精ぞみなぎれる







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十一年新寮記念寮歌

かがやく路

―新築された寮のために―

服部光平君 作歌

山本吉之助君 作曲

大正十一年新寮記念寮歌

かがやく路

―新築された寮のために―

服部光平君 作歌

山本吉之助君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十一年新寮記念寮歌

かがやく路

―新築された寮のために―

服部光平君 作歌

山本吉之助君 作曲

一

かがやく路（みち）のさすらひや
魂（たま）の聖（せい）なる石狩（いしかり）の
色華（いろはな）かなるあけぼのの
揺籃（ゆりかご）に歌（うた）ふ若人（わかうど）は







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十一年新寮記念寮歌

かがやく路

―新築された寮のために―

服部光平君 作歌

山本吉之助君 作曲

三

夏の林に流れわたる
いのちの野火のおき伏の
愛の栄えは香盤に
感激ふかく胸をゆる



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十一年新寮記念寮歌

かがやく路

―新築された寮のために―

服部光平君 作歌

山本吉之助君 作曲

三

秋(あき)の狭霧(さぎり)の野(の)を越(こ)えて
時(とき)の進(すす)みのみちすぢに
鐘(かね)の音聞(ねき)けば今更(いまさら)に
あはれ高鳴(たかな)る吾生命(わぎのち)よ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十一年新寮記念寮歌

かがやく路

―新築された寮のために―

服部光平君 作歌

山本吉之助君 作曲

四

永遠（とは）になみうつ白銀（しろがね）の
神秘（くしび）を語（かた）る冬（ふゆ）の夜（よ）に
空色（そらいろ）の国星（くにほし）の国（くに）
沈黙（しじま）に曳（ひ）ける追懐（おもひで）よ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十二年寮歌

春雨に濡る

高橋北雄君 作歌

西田貫道君 作曲

大正十二年寮歌

春雨に濡る

高橋北雄君 作歌

西田貫道君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十二年寮歌

春雨に濡る

高橋北雄君 作歌
西田貫道君 作曲

一

春雨(はるさめ)に濡(ぬ)るるアカシヤ花(ばな)
街路(とほり)の灯(ともし)はなやかに
地(ち)は銀鼠(ぎんねず)にたそがるる
寂(しづ)かに歩(あゆ)む若人(わこうど)が
心(こころ)にめざむ爽(さわや)かの
灑(うるほ)み充(み)てる力(ちから)かな







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十二年寮歌

春雨に濡る

高橋北雄君 作歌
西田貫道君 作曲

二

夏の入陽(いりひ)に砂丘(すなやま)の
猟虎(らっこ)の骨(ほね)に鷗(かもめ)と飛ぶ
融(と)けざる銀(ぎん)の山脈(やまなみ)は
碧薄(あをうす)れゆく空(そら)にうく
名残(なごり)の光身(ひかりみ)にあびて
異郷(いきょう)の方(かた)を思(おも)ふかな



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十二年寮歌

春雨に濡る

高橋北雄君 作歌
西田貫道君 作曲

三

仄青白き白樺(ほのあおじろしらかば)や
落葉(おちば)ふむ音寂(おとさび)しくも
谷(たに)また谷(たに)を辿(たど)り行(ゆ)き
今宵(こよい)は淡(あわ)き夢見(ゆめみ)んと
焚火(たきび)を囲(かこ)み歌(うた)ふ寮歌(うた)
紫紺(しこん)の闇(やみ)に解(と)けて行(ゆ)く







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十二年寮歌

春雨に濡る

高橋北雄君 作歌
西田貫道君 作曲

四

青き空透き銀の月
石狩の河波光る
雪の野限は靄こめて
灯漂ふアイヌ小屋
琥珀の酒を汲み交し
王者の誇偲ぶかな







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十三年寮歌

茫々はるか

高野芳雄君 作歌

神島辰雄君 作曲

大正十三年寮歌

茫々はるか

高野芳雄君 作歌

神島辰雄君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十三年寮歌

茫々はるか

高野芳雄君 作歌
神島辰雄君 作曲

一

茫々(ぼうぼう)はるかに緑(みどり)に炎(も)えて
石狩原頭(いしかりげんとう)美(び)の香(か)に酔(よ)えば
高鳴(たかな)りあふるる若人(わこうど)の血(ち)や
ああこの霊(こころ)の憧(あこが)れの地に
曙光(しょくわう)に輝(かがや)く黎明(れいめい)告(つ)ぐる
鐘(かね)を撞かばや

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

大正十三年寮歌

茫々はるか

高野芳雄君 作歌
神島辰雄君 作曲

二

真紅(しんく)に熱(ねっ)せる入陽(いりひ)は沈(しず)み
黙思(もだし)の歩(あゆ)みを運(はこ)ぶ夕宵(ゆふべ)は
エルムの繁(しげ)みの梢透(こずゑ)かして
夕映流(ゆふばえなが)るる黄色(こがね)の彩(あや)に
生命(いのち)の窓(まど)をば疾(と)く開(あ)け放(はな)ち
霊気(れいき)吸(す)はずや

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

大正十三年寮歌

茫々はるか

高野芳雄君 作歌
神島辰雄君 作曲

三

地平の際涯によしや吾等の
感激は沈めど彼方はるかに
思索の曠野は尽せぬなれば
石狩河岸に友よ佇み
野生の律べの秘奥を求め
真理を聴かん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十四年寮歌

敝れし衣

外山徳次郎君 作歌

三溝清美君 作曲

大正十四年寮歌

敝れし衣

外山徳次郎君 作歌

三溝清美君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十四年寮歌

敝れし衣

外山徳次郎君 作歌

三溝清美君 作曲

一

敝(やぶ)れし衣(ころも)の袖(そで)に散(ち)る
不香(ふかう)の花(はな)の小夜嵐(さよあらし)
淋(さび)しく強(つよ)く生(い)きぬ可(べ)く
手稲(ていね)の峯(みね)に響(ひび)くかな







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十四年寮歌

敝れし衣

外山徳次郎君 作歌

三溝清美君 作曲

二

送る梅花の芳せに
熱腸しぼる杜鵑
誘ふ春風恨みては
散るも惜しまぬ山桜







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十四年寮歌

敝れし衣

外山徳次郎君 作歌

三溝清美君 作曲

三

きのふぞ移る秋風に
草木悲歌を奏ひつつ
月の面ゆく鳥の影
故山の空に微み行く



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十四年寮歌

敝れし衣

外山徳次郎君 作歌

三溝清美君 作曲

四

駄鞭荒野に打ふりて
赴くや皇土の城の外
青山我が有に帰し
緑水我を弔はん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十四年寮歌

敝れし衣

外山徳次郎君 作歌

三溝清美君 作曲

五

国(くに)に誓(ちか)ひし丈夫(ますらを)の
夢中原(ゆめちゅうげん)にさまよひて
仰(あふ)ぐみ空(そら)にまたたける
北極星(ほくきよくせい)のかげ清(きよ)し







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十四年開舎二十周年記念寮歌

大地はなごやかに

黒沢徹君 作歌

三溝清美君 作曲

大正十四年開舎二十周年記念寮歌

大地はなごやかに

黒沢徹君 作歌

三溝清美君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十四年開舎二十周年記念寮歌

大地はなごやかに

黒沢徹君 作歌

三溝清美君 作曲

一

大地(ち)はなごやかにうるほひて
丘陵(をか)の傾斜(なぞへ)の若草(わかくさ)や
さゆらぐ楡(にれ)の嫩葉(わかば)にも
春新生(はるしんせい)の精気(き)は溢(あふ)る
原始林(もり)の緑(みどり)に流(なが)れ来(く)る
嗚呼(あ)青春(せいしゅん)の讃歌(たたへうた)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十四年開舎二十周年記念寮歌

大地はなごやかに

黒沢徹君 作歌
三溝清美君 作曲

二

色紫の彩絹(いろむらさきのあやぎぬ)に
染めて溶けたる朝霧(そめてとけたるあさぎり)の
悠久の蒼穹(ゆうきゅうのそら)はるかにも
濃き水色(こきみずいろ)にうつろへば
白鳥高く海に飛び(はくちょうたかくうみにとび)
入江の波に夏陽は映ゆる(いりえのなみにひはゆる)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十四年開舎二十周年記念寮歌

大地はなごやかに

黒沢徹君 作歌

三溝清美君 作曲

三

連嶺(やまなみ)紅(くれない)に黄昏(たそが)れて
夕靄流(ゆうもやなが)る水沼(すいしょう)の
白き葦穂波(しろきほなみ)に顫(ふる)ふ月(つき)
幽暗(いうあん)の草野(の)に訪(おと)づれば
仄(ほの)かに響(ひび)く胸(むね)うちの
高遠(たか)き感激(おもひ)に逍遥(さまよ)ふ哉(や)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十五年寮歌

ああ青春の歓喜を

木村左京君 作歌

牧野千代治君 作曲

大正十五年寮歌

ああ青春の歓喜を

木村左京君 作歌

牧野千代治君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十五年寮歌

ああ青春の歓喜を

木村左京君 作歌
牧野千代治君 作曲

一

ああ青春(せいしゅん)の歓喜(よろこび)を
宴(うたげ)の酔(よ)ひと言(い)ふは誰(た)れ
我(わ)が行(い)く方(かた)の遠(とほ)ければ
しばしこの舎(や)に憩(いこ)ひして
草(くさ)を茵(しとね)の旅枕(たびまくら)
明日(あす)の旅路(たびぢ)を夢(ゆめ)に見(み)ん

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

大正十五年寮歌

ああ青春の歓喜を

木村左京君 作歌

牧野千代治君 作曲

二

曠野(くわうや)に萌(も)ゆる若草(わかくさ)の
しらべゆかしき喜(よろこ)びを
そよ吹(ふ)く風(かぜ)に寄(よ)するとき
うららかに照(て)る春(はる)の日(ひ)は
霞(かすみ)の奥(おく)にまどろみて
光(ひかり)の波(なみ)は野(の)に充(み)てり



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

大正十五年寮歌

ああ青春の歓喜を

木村左京君 作歌
牧野千代治君 作曲

五

あはれゆかしき人の世や
夜ふけの街を歩みつつ
遠き北斗の星を呼び
友も歌へば我も和し
来るはここぞ森の奥
光まばゆき自治の燈







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十五年開学五十周年記念寮歌

爪紅の黎明の風

井上哲郎君 作歌

河口忠雄君 作曲

大正十五年開学五十周年記念寮歌

爪紅の黎明の風

井上哲郎君 作歌

河口忠雄君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正十五年開学五十周年記念寮歌

爪紅の黎明の風

井上哲郎君 作歌
河口忠雄君 作曲

一

爪紅(つまくれなゐ)の黎明(あけ)の風(かぜ)
白羽(しらは)の箙(よろ)へる若武者(わかむしゃ)が
青春(はる)うち慕(した)ふ風情(なさけ)あり
赤(あか)き血潮(ちしほ)の溢(あふ)れては
北溟(ほくめい)の城花(しろはな)も散(ち)る
香(にほ)ふ二十(はたち)を愛(を)しむ哉(かな)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二年寮歌

蒼空高く翔らむと

土井恒喜君 作歌

長谷川吉郎君 作曲

昭和二年寮歌

蒼空高く翔らむと

土井恒喜君 作歌

長谷川吉郎君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二年寮歌

蒼空高く翔らむと

土井恒喜君 作歌

長谷川吉郎君 作曲

一

蒼空高く翔らむと
暫しやすらふ楡の蔭
力は胸に溢れつつ
翼つくろふ思かな







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二年寮歌

蒼空高く翔らむと

土井恒喜君 作歌

長谷川吉郎君 作曲

二

朝曠野(あしたくわうや)の露(つゆ)を吸(す)ひ
夕北斗(ゆふべほくと)の囁(ささや)きに
驚(おどろ)き瞠(さむ)る幼鵬(わかどり)の
清(きよ)き眸(まなざし)君見(きみみ)ずや



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二年寮歌

蒼空高く翔らむと

土井恒喜君 作歌
長谷川吉郎君 作曲

三

うら若き日の悦びを
はかなきものと誰かいふ
理想の潮湧き出づる
生命の海の高鳴るを







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二年寮歌

蒼空高く翔らむと

土井恒喜君 作歌
長谷川吉郎君 作曲

四

若(わか)きに芽(め)ぐむ数々(かずかず)の
深(ふか)き苦悩(うれひ)は身(み)にあれど
迪(みち)を恵(たづ)ねて辿(たど)りゆく
遊子(ゆうし)の真意(こころきみ)君知(し)るや







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二年寮歌

蒼空高く翔らむと

土井恒喜君 作歌

長谷川吉郎君 作曲

五

茫々千里石狩(ぼうぼうせんりいしかり)の
野(の)は澄(す)みわたる 銀(しろがね)の
雪(ゆき)さんらんと散(ち)るところ
われらが魂(たま)の故郷(こきょう)かな







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二年寮歌

蒼空高く翔らむと

土井恒喜君 作歌

長谷川吉郎君 作曲

六

若き勇者よオキクルミ
熊をはふりて饗宴せし
短檠すでに光消え
東の空はかぎろひぬ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三年寮歌

郭公の声に

古河勝夫君 作歌

宮本正治君 作曲

昭和三年寮歌

郭公の声に

古河勝夫君 作歌

宮本正治君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三年寮歌

郭公の声に

古河勝夫君 作歌
宮本正治君 作曲

一

郭公の声に迷夢の夜は明けて
紫紺の雲の色も褪めゆき
春芝草に風のそよげば
旭光は見よ東雲の沈黙を破り
自然の精姿紅に揺らぎぬ
讃へなんうら若き日の
朝の神秘を







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三年寮歌

郭公の声に

古河勝夫君 作歌
宮本正治君 作曲

六

白樺(しらかば)よポプラ並木(なみき)よアカシヤよ
春秋(はるあき)三度(みたび)廻(めぐ)り去(さ)りなば
若(わか)き生命(いのち)は疾(と)くに萎(な)え果(は)て
逝(い)にし日(ひ)の宴遊(うたげ)の宵(よい)の
夢(ゆめ)も追(お)ひ得(え)じ
此(こ)の経営(いとなみ)に思想(おもひ)分(わか)ちし
寮友(ともどち)よ心(こころ)の記念(かたみ)永久(とわ)に謳(うた)はん



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ



昭和四年寮歌

黒潮鳴れる

須田政美君 作歌

森忠文君 作曲

昭和四年寮歌

黒潮鳴れる

須田政美君 作歌

森忠文君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四年寮歌

黒潮鳴れる

須田政美君 作歌

森忠文君 作曲

一

黒潮鳴れる滄海越えて
際限無き春を北州に訪ふ
原始の大森に八光揺ぎ
若草の曠野に羊群遊ぶ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四年寮歌

黒潮鳴れる

須田政美君 作歌

森忠文君 作曲

二

情懐(こころ)は朧月(つき)に仄(ほの)かに薫(かほ)る
アカシヤの白花(はな)慕(した)ひて歩(あゆ)む
恋(こ)ふる往昔(むかし)の静寂(しづ)けき名(な)残り
古塔(こたふ)にひびく懐(なつか)しき鐘(かね)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四年寮歌

黒潮鳴れる

須田政美君 作歌

森忠文君 作曲

三

紅光(くれなゐ)うすくエルムに映(は)えて
草笛(くさぶえ)かそかに牧場(まきば)にながる
漂(さす)泊らひ行(ゆ)ける白雲影仰(くもかげあふ)ぎ
無心(むしん)の若人(こ)らは緑(みどり)に臥(ふ)せり







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四年寮歌

黒潮鳴れる

須田政美君 作歌

森忠文君 作曲

六

久遠(くをん)の絢夢(ゆめ)はうづもれゆきて
哀愁時(かなしみとき)にしづかに来(く)れど
雄(たけ)き「自然(しぜん)」と「血潮(ちしほ)」の人(ひと)は
楡陵(ゆりょう)に永(なが)くうつくしく立(た)つ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五年寮歌

嗚呼青春の

児山信蔵君 作歌

有村徹君 作曲

昭和五年寮歌

嗚呼青春の

児山信蔵君 作歌

有村徹君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五年寮歌

嗚呼青春の

児山信蔵君 作歌

有村徹君 作曲

一

嗚呼青春の夢高く
理想のあとに憧憬れて
楡の花散る学都にぞ
啓示を求む若人は
綺花を流して逝く水に
十九の春を嘆くなり







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五年寮歌

嗚呼青春の

児山信蔵君 作歌
有村徹君 作曲

三

学堂(みどう)の古鐘(かね)の沈(しづ)みゆき
楡陵(ゆりょう)の蒼空(そら)に銀月(つきさ)冴えて
羊(ひつじ)の群(むれ)の片影(かげ)もなし
沈黙(しじま)の原始に散(ち)りしける
落葉(おちば)踏(ふ)みゆく雄(たけ)き子(こ)は
三年(みとせ)の絢夢(ゆめ)に涙(なんだ)する

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和五年寮歌

嗚呼青春の

児山信蔵君 作歌
有村徹君 作曲

五

北斗は遠く七星清し
「妄執」の現世を見下して
真実一路の迪恵ぬ
「意気」と「血潮」に生くる子の
瞳に燃ゆる紅焔は
永遠なる生命の証なり







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六年寮歌

平和の光輝ける

広瀬英三君　作歌

金景洙君　作曲

昭和六年寮歌

平和の光輝ける

広瀬英三君 作歌

金景洙君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六年寮歌

平和の光輝ける

広瀬英三君 作歌

金景洙君 作曲

一

平和の光輝ける
春未だ浅き曙に
綾なす紫雲を分け出でて
彩色られ行く青春の
久遠の迷夢を求めつつ
声高らかに歌はなん



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六年寮歌

平和の光輝ける

広瀬英三君 作歌

金景洙君 作曲

五

高き「理想」と「純情」に
たぎる生命を託しつつ
憧れ集ふ若人の
情熱のかがり火打ち囲み
月下に酌むや楡の宴
いざや謳歌へん記念祭







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六年閉寮記念寮歌

別離の歌

大槻均君 作歌

中村小弥太君 作曲

昭和六年閉寮記念寮歌

別離の歌

大槻均君 作歌

中村小弥太君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六年閉寮記念寮歌

別離の歌

大槻均君 作歌
中村小弥太君 作曲

草木すら時に悲歌を嘆ず、
永劫の時の流れの尽きざるに、
人の世の凡ての何ぞはかなき。
懐しき友よ、
彼の寮を思ひ浮べて心静かに
「別離の歌」を奏でん。







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

草木すら時に悲歌を嘆ず、
永劫の時の流れの尽きざるに、
人の世の凡ての何ぞはかなき。
懐しき友よ、
彼の寮を思ひ浮べて心静かに
「別離の歌」を奏でん。

昭和六年閉寮記念寮歌

別離の歌

大槻均君 作歌
中村小弥太君 作曲

一

高遠(たかき)を誇(ほこ)る自治(じちれう)寮よ
星永遠(ほしとこしへ)に流(なが)れては
春秋(しゅんじう)ここに二十六(にじふろく)
逝(ゆ)きて帰(かへ)らぬ春風(はるかぜ)を
恨(うら)む今宵(こよひ)の若草(わかくさ)の上(うへ)
これ先人(せんじん)が夢(ゆめ)の跡(あと)かな

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和六年閉寮記念寮歌

別離の歌

大槻均君 作歌
中村小弥太君 作曲

二

移ろふ世習泣くは誰そ
原始の森に咲く枝を
手折りて結ぶ友垣が
燃ゆる生命のかがり火に
光る瞳は幸福星か
強く正しく友よ生きなむ



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六年閉寮記念寮歌

別離の歌

大槻均君 作歌
中村小弥太君 作曲

三

明日(あす)の宿居(やどり)は知(し)らねども
吾(われ)に友(とも)あり、吾(われ)つよし
降(ふ)る苦難(くるしみ)をともにせん
誓(ちか)ふ心(こころ)の酒杯(さかづき)に
尽(つ)きぬ名残(なごり)の涙(なんだ)する
今宵限(こよひかぎ)りのこの宴(うたげ)かな



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ



北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和七年寮歌

古城の春は

大槻均君 作歌

中村小弥太君 作曲

昭和七年寮歌

古城の春は

大槻均君 作歌

中村小弥太君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和七年寮歌

古城の春は

大槻均君 作歌
中村小弥太君 作曲

一

古城(こじょう)の春(はる)は老(お)い易(やす)く
延齢草(えんれいさう)の名(な)に問(と)へど
流転(るてん)の法(のり)は断(た)ち難(がた)し
友(とも)よエルムの鐘(かね)を聴(き)け
再建(さいけん)の秋程(ときほど)なけん
ペルアスペラと鳴(な)り響(ひび)く



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和七年寮歌

古城の春は

大槻均君 作歌
中村小弥太君 作曲

二

今移り来し原始林の蔭
宿るは未だ浅ければ
契は深き三百の
心を交はすこの宴
暁かけていざ撞かん
アドアストラの自治の鐘







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和七年寮歌

古城の春は

大槻均君 作歌

中村小弥太君 作曲

五

竜蛇岸打つ大洋の
今人生の船出かな
白帆高くはためきて
正気をはらむ若人の
理想の船は不壊にして
さかまく苦海を永遠に航く



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和八年寮歌

タンネの氷柱

卜部清君 作歌

白石祐義君 作曲

昭和八年寮歌

タンネの氷柱

卜部清君 作歌

白石祐義君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和八年寮歌

タンネの氷柱

卜部清君 作歌
白石祐義君 作曲

一

タンネの氷柱消ゆる頃
胡蝶は眠る花の宿
牧場に結ぶ夢遥か
青き希望の雪峯こえて
四海に羽振る若鵬の
石狩を立つ意気をみん



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和八年寮歌

タンネの氷柱

卜部清君 作歌
白石祐義君 作曲

二

朝里の丘に烏頭咲けば
蝦夷が芙蓉の雪とけて
千尋の懸崖ゆくだけ入る
忍路の沖の真白帆に
万里の波濤翔らんと
白鷗はしばし憩ふなり



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和八年寮歌

タンネの氷柱

卜部清君 作歌
白石祐義君 作曲

三

真紅(しんく)の夕陽山(ゆうひやま)の端(は)に
もゆる紅葉(もみぢ)をかざしたる
友(とも)がゆくての野(の)を遠(とほ)く
幌馬車(ほろばしゃ)の影消(かげき)え去(さ)りぬ
蓬髪胡風(ほうはつかぜ)に靡(なび)けつつ
懐情(おもひ)は尽(つ)きず果(は)てもなく







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和八年寮歌

タンネの氷柱

卜部清君 作歌
白石祐義君 作曲

四

十勝(とかち)の峰(みね)に捲(ま)き起(お)こる
吹雪怒(ふぶきいか)りて咆(ほ)ゆる夜(よ)も
旭光東(ぎょっこうひがし)に色(いろ)めけば
熊追(くまお)ふ愛奴(あいぬ)の雄叫(おたけ)びに
大雪原(だいせつげん)の霊光(れいこう)や
無絃琴(つるなしごと)の音(ね)ぞ高(たか)し



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和八年寮歌

タンネの氷柱

卜部清君 作歌
白石祐義君 作曲

五

懸る垂氷に月くだけ
千々の瞑想は来し方の
六十の秋はしるくして
緑に浮ぶ白亜城
苔むす楡鐘の哀調きけ
若き力を求むなり







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和九年寮歌

津軽の海

星勇君 作歌

白石祐義君 作曲

昭和九年寮歌

津軽の海

星勇君 作歌

白石祐義君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和九年寮歌

津軽の海

星勇君 作歌

白石祐義君 作曲

一

津軽(つがる)の海渦巻(うづま)ける奥(おく)

オホツクの寒潮(かんてう)咆哮(ほ)えて

雄健(たけ)き名ぞ蝦夷(えぞ)が島根(しまね)に

年古(としふ)りし恵迪(けいてき)の寮(れう)

旅寝(たびね)とな言(い)ひし三年(みとせ)を

揺籃(えうらん)の高夢(ゆめ)を追(お)ふなり



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和九年寮歌

津軽の海

星勇君 作歌

白石祐義君 作曲

四

六十(むそぢ)にも齢(よはひ)うつろひ
集(つど)ひたる寮友(とも)は兄弟(はらから)
伝統(でんとう)の永遠(とは)の記念(かたみ)と
感激(かんげき)の寮史(れうし)も成(な)りぬ
情懐(むね)深(ふか)く唯魂(ただたましい)が
魂(たましい)と結(むす)び輝(かがや)く



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和九年寮歌

津軽の海

星勇君 作歌

白石祐義君 作曲

七

北溟(ほくめい)の自治(じち)の牙城(がじやう)を
蒼穹(そら)高(たか)く巣立(すだ)つ寮友(ともひと)
澆季(げふき)の世救(よすく)はんは汝(な)れ
済世(さいせい)の烽火(のろし)あぐべし
忘(わす)れ得(え)ぬ恵迪(けいてき)の歌(うた)
高唱(うた)ひゆけ正義(せいぎ)の大道(みち)を







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十年寮歌

噫妖雲は

川村真君 作歌

荻野辰夫君 作曲

昭和十年寮歌

噫妖雲は

川村真君 作歌

荻野辰夫君 作曲







寮歌 アプリ



北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十年寮歌

噫妖雲は

川村真君 作歌

荻野辰夫君 作曲

一

噫妖雲(ああえううん)は狂(くる)へども
迪(みち)を恵(もと)めし若人等(わこうどら)
巍然(ぎぜん)四寮(しれう)に立籠(たてこ)もり
覚醒(かくせい)の歌高誦(うたう)ふかな



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十年寮歌

噫妖雲は

川村真君 作歌

荻野辰夫君 作曲

二

三年の契浅(ちぎりあさ)からず
爛漫春(らんまんはる)を欺(あざむ)けど
銀�觴口辺(ぎんしやうくち)にうつろへば
名残(なごり)の春(はる)を惜(をし)むべし







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十年寮歌

噫妖雲は

川村真君 作歌

荻野辰夫君 作曲

三

羊(ひつじ)の群(むれ)は去(さ)り行(ゆ)きて
角笛遠(つのぶえとほ)くこだましぬ
夏草深(なつくさふか)き丘上(をかのへ)に
月三更(つきさんかう)の影冴(かげさ)ゆる







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十年寮歌

噫妖雲は

川村真君 作歌

荻野辰夫君 作曲

六

月影淡(つきかげあは)き楡(にれ)の陵(をか)
記念(きねん)の祭(まつり)終(をは)るなり
篝火(かがりび)焚(た)きて我(われ)は今(いま)
静(しづ)かに宵(よひ)を誦(うた)はなん

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ







楡陵謳春賦

吾等が三年を契る絢爛の
その饗宴はげに過ぎ易し。
然れども見ずや穹北に
瞬く星斗永久に曇りなく、
雲とまがふ万朶の桜花
久遠に萎えざるを。
寮友よ徒らに
明日の運命を歎かんよりは
楡林に篝火を焚きて、
去りては再び帰らざる
若き日の感激を謳歌はん。

昭和十一年寮歌

嗚呼茫々の

宍戸昌夫君 作歌

村岡五郎君 作曲

昭和十一年寮歌

嗚呼茫々の

宍戸昌夫君 作歌

村岡五郎君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十一年寮歌

嗚呼茫々の

宍戸昌夫君 作歌
村岡五郎君 作曲

一

嗚呼茫々の大曠野
先人ここに芟りて
建てし自由と自治の城
その源は遠くして
濁世叱咤す六十年の
苔むす青史誇りなん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十二年寮歌

魂の故郷

山崎善陽君 作歌

平城鷹雄君 作曲

昭和十二年寮歌

魂の故郷

山崎善陽君 作歌

平城鷹雄君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十二年寮歌

魂の故郷

山崎善陽君 作歌
平城鷹雄君 作曲

一

魂(たましい)の故郷(ふるさと)に立(た)つ
星清(ほしきよ)き楡(エルム)の園(その)よ
花芳(はなかほ)る三春(さんしゅん)の夢(ゆめ)
感激(かんげき)の涙(なみだ)あふれて
原始林蔭(もりかげ)に盃(さかづき)かはす
青春(わか)き日(ひ)の記念(かたみ)の宴(うたげ)
歌(うた)ふなり
自治(じち)と自由(じいう)の高(たか)き誇(ほこり)を



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ



昭和十二年寮歌

魂の故郷

山崎善陽君 作歌
平城鷹雄君 作曲

五

曠野に高嘯ふ恵迪の健児
毅然たり若き生命よ
先人の崇き訓戒に
大いなる野心育む
慨世の憂はあれど
ここ暫し休息もとめて
いざ寮友よ
のこりの春を惜しまざらめや



Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和十二年第三十回記念祭歌

春未だ浅き

平城鷹雄君 作歌

宍戸昌夫君 作曲

昭和十二年第三十回記念祭歌

春未だ浅き

平城鷹雄君 作歌

宍戸昌夫君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十二年第三十回記念祭歌

春未だ浅き

平城鷹雄君 作歌

宍戸昌夫君 作曲

一

春未(はるま)だ浅(あさ)き白楊(はくやう)の
雪解(ゆきげ)の小路(こみち)たたずめば
しばし聞(き)けとて私語(ささめき)の
木(こ)の間(ま)もれくる夕嵐(ゆふあらし)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十二年第三十回記念祭歌

春未だ浅き

平城鷹雄君 作歌

宍戸昌夫君 作曲

二

あはく足(あし)げに咲(さ)き出(い)でし
おぼろおぼろの水芭蕉(みづばせう)
なつかしの原始杜肩(もりかた)とりて
榾火(ほたび)をめぐり歌(うた)はなん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十二年第三十回記念祭歌

春未だ浅き

平城鷹雄君 作歌

宍戸昌夫君 作曲

三

長髪頬に戯れて
昔変らぬ風なれや
今したたへん三十回の
青史をかざす記念祭







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十二年第三十回記念祭歌

春未だ浅き

平城鷹雄君 作歌

宍戸昌夫君 作曲

四

美酒(うまし)の夜(よる)は更(ふ)け行(ゆ)けど
尽(つ)きぬ男子(をのこ)の黒潮(くろしほ)を
契(ちぎり)の杯(つき)に汲(く)み交(か)はし
常緑(ときは)を祝(いは)ふ自治(じち)の宴(えん)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十三年寮歌

津軽の滄海の

二階堂孝一君 作歌

高橋寛君 作曲

昭和十三年寮歌

津軽の滄海の

二階堂孝一君 作歌

高橋寛君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十三年寮歌

津軽の滄海の

二階堂孝一君 作歌

高橋寛君 作曲

一

津軽(つがる)の滄海(うみ)の渦潮(うづしほ)わけて
雄大(おほ)き想(おも)ひを北斗(ほくと)に馳(は)する
若(わか)き情懐(こころ)は北溟(きた)の自然(しぜん)に
抱擁(いだ)かれて今野心(いまやしんつちか)培ふ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十三年寮歌

津軽の滄海の

二階堂孝一君 作歌

高橋寛君 作曲

二

アカシヤの白花(はなち)散り敷(し)く夕(ゆふ)べ
白銀(しろがね)の月仄(つきほの)かに浮(うか)ぶ
牧場添(まきぞ)ひの野路(みち)逍遙(さまよ)ひゆけば
羊(ひつじ)の群(むれ)は声(こゑ)なく去(さ)りぬ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十三年寮歌

津軽の滄海の

二階堂孝一君 作歌

高橋寛君 作曲

三

石狩の平野に爽夏訪れて
原始の大森は緑影も小暗し
郭公の朗声静寂に徹り
清涼しき朝の熟睡を破る







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十四年寮歌

時潮の流転

望月真三郎君 作歌

竹村伸一君 作曲

昭和十四年寮歌

時潮の流転

望月真三郎君 作歌

竹村伸一君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十四年寮歌

時潮の流転

望月真三郎君 作歌
竹村伸一君 作曲

一

時潮(じてう)の流転(ながれ)滾々(そうそう)と
四季乾坤(ときけんこん)に巡(めぐ)り立(た)つ
去来常(きょらいつね)なく人(ひとかは)変り
有情無為(うじやうむゐ)の時鐘(かね)の音(ね)に
孤城(こじやう)の爽春(はる)は未(ま)だ浅(あさ)し



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十四年寮歌

時潮の流転

望月真三郎君 作歌
竹村伸一君 作曲

二

遠く流離の春に来て
此の高楼に春愁ひつつ
郭公鳥の鳴くさへも
多感の児等の情懐熱く
懐古の涙溢るべし







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十四年寮歌

時潮の流転

望月真三郎君 作歌
竹村伸一君 作曲

六

明日(あす)別(わか)れ行(ゆ)く旅人(たびびと)の
春(はる)の夕(ゆふ)べの宴遊(うたげ)かな
かへらぬ絢夢(ゆめ)をしのびつつ
生命(いのち)の故郷(さと)と慨嘆(なげ)きしも
すでに三星霜(みとせ)の草枕(くさまくら)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十五年寮歌

弥生の空に

大井徹夫君 作歌・作曲

昭和十五年寮歌

弥生の空に

大井徹夫君 作歌・作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十五年寮歌

弥生の空に

大井徹夫君 作歌・作曲

一

弥生の空に消え残る
霞に春の絢夢闌けて
首途を祝ふ花吹雪
友情の盃を交しつつ
北斗の光身に享けて
仰ぐ健児の影清し







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十五年寮歌

弥生の空に

大井徹夫君 作歌・作曲

二

手稲の山に陽は落ちて
広き蒼空の茜雲
「我立たずんば」の意気あれど
昇天の機を小百合咲く
静けき故郷に憩して
暫し臥竜の夢に見む







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十五年寮歌

弥生の空に

大井徹夫君 作歌・作曲

三

春雨煙る並木路に
輪廻の相偲びては
露置く花を愛しみて
遠き思索に逍遙へば
緑の牧場眼に著き
野路は果てなく黄昏れぬ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十六年寮歌

湖に星の散るなり

切替辰哉君 作歌

岡田和雄君 作曲

昭和十六年寮歌

湖に星の散るなり

切替辰哉君 作歌

岡田和雄君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十六年寮歌

湖に星の散るなり

切替辰哉君 作歌
岡田和雄君 作曲

一

湖(みずうみ)に星(ほし)の散(ち)るなり幽(かそ)けさよ
松(まつ)の火燃(ひも)えて漕(こ)ぎ出(い)づる
愛奴(あいぬ)の漁舟(ふね)の岸辺(きしべ)佇(た)ち
沁々眺(しみじみなが)む旅(たび)の日(ひ)ははや暮(く)れゆきぬ
夢(ゆめ)に酔(よ)ひ夢(ゆめ)にぞ歎(な)かん
汚(けが)れなき心(こころ)を慕(した)ふ
大(おお)いなる支笏(しこつ)の湖(うみ)よ花(はなわか)若く
我汝(われな)が許(もと)に希望(のぞみ)満ち今宵(こよいやど)宿らん

北海道大学恵迪寮

Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十七年寮歌

春来にけらし

橋爪秀雄君 作歌

杢子一雄君 作曲

昭和十七年寮歌

春来にけらし

橋爪秀雄君 作歌

杢子一雄君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十七年寮歌

春来にけらし

橋爪秀雄君 作歌
杢子一雄君 作曲

一

春来にけらし白雪の
厚き衣や重からん
綾羅の糸も綻ろびて
朧々深き五月闇
楡影揺めく蘞鼓の音に
夜霧に蒸せる緑酒汲み
挙りて踊る楡の精







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十七年寮歌

春来にけらし

橋爪秀雄君 作歌
杢子一雄君 作曲

二

草茅(さうばう)しげき原始林(もり)かげに
聖(きよ)き焔(ほのほ)を囲(かこ)みつつ
若(わか)き情熱(こころ)は求(もと)むれど
人生誰(じんせいたれ)かよく解(と)かん

ただ真(まこと)なる愛(あい)に泣(な)く
寮友(とも)の姿(すがた)の清(きよ)ければ
春宵(しゅんせう)の罪(つみ)と誰(たれ)か言(い)ふ

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和十七年寮歌

春来にけらし

橋爪秀雄君 作歌
李子一雄君 作曲

三

春秋糸(はるあきいと)も限(かぎ)りなく
文月(ふづき)の夢(ゆめ)は織女星(おりひめ)の
あはれ手稲(ていね)の衣(ころも)かな
山(やま)の端(はふか)深くたそがれて
今宵銀河(こよひぎんが)の祭日(まつりび)の
永劫(えいごふ)の空(そら)を眺(なが)むれば
天空流(てんくうなが)る星(ほしひと)一つ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十七年寮歌

春来にけらし

橋爪秀雄君 作歌
杢子一雄君 作曲

四

雨月の濁流滔々と
豊川に聞く世の憂
泥濘沈み真清水の
流るる秋は見ざるとも
墳墓の土を清くせん
戦の庭を高らかに
七つの海の潮音よ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十七年大東亜戦争頌歌

あますなく拓きゆく道

切替辰哉君 作歌

池田政晴君 作曲

昭和十七年大東亜戦争頌歌

あますなく拓きゆく道

切替辰哉君 作歌

池田政晴君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十七年大東亜戦争頌歌

あまますなく拓きゆく道

切替辰哉君 作歌
池田政晴君 作曲

一

あまますなく拓きゆく道
天雲の向伏す極み
地の涯ゆ、征かむ御楯と
大詔もち、我等日の族
源泉のごと湧きたたむ
誇らかに諸声に
血潮流さむ

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和十七年大東亜戦争頌歌

あますなく拓きゆく道

切替辰哉君 作歌
池田政晴君 作曲

七

ここぞ茲(ここ)、いかで忘(わす)れむ
日(ひ)に若(わか)き、恵迪(けいてき)の児(こ)よ
たどり得(え)し道(みち)の感喜(よろこび)
溢(あふ)れつつ、ほの認(みと)めけむ
仰(あふ)ぎ見(み)る銀漢(ぎんが)のほとり
真実(まこと)もて、弥生(いやお)ひに
継(つ)ぎて行(ゆ)かなむ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十八年寮歌

天地の奥に

橋爪秀雄君 作歌

池田政晴君 作曲

昭和十八年寮歌

天地の奥に

橋爪秀雄君 作歌

池田政晴君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十八年寮歌

天地の奥に

橋爪秀雄君 作歌
池田政晴君 作曲

一

天地(てんち)の奥(おく)に征(ゆ)く吾(われ)や
孤杖無限(こぢゃうむげん)に旅立(たびだ)ちて
渓巒(けいらん)はるか訪(たず)ね来(こ)し
楡陵(ゆりょう)の宿(やど)や三春(さんしゅん)の
旅(たび)にしあれどそは深(ふか)き
噫(ああ)魂(たましい)のふるさとか

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和十八年寮歌

天地の奥に

橋爪秀雄君 作歌
池田政晴君 作曲

三

四大(しだい)も夢(ゆめ)む幌(ほろ)のさと
歌(うた)の心(こころ)を温(たづ)ぬれば
馥(かを)り床(ゆか)しきアカシヤの
花灰白(はなほのじろ)き憂(うれひ)あり
夏宵(かせう)の霞(かすみたな)靉びきて
月皎々(つきかうかう)の滄海(うみ)をゆく

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和十八年寮歌

天地の奥に

橋爪秀雄君 作歌
池田政晴君 作曲

六

いざ浩歌(うた)はなん天壌(あめつち)の
栄(さか)ゆる時(とき)ぞ益荒男(ますらを)の
事(つか)ふる道(みち)は烈(きび)しかる
今宵祭(こよいまつり)の聖(きよ)き火(ひ)に
尊(とうと)き誓(ちか)ひ立(た)てよかし
興亡分(こうぼうわか)るる秋(とき)なれば



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十九年寮歌

雪解の楡陵の

鈴木信夫君 作歌

竹山賢治君 作曲

昭和十九年寮歌

雪解の楡陵の

鈴木信夫君 作歌

竹山賢治君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十九年寮歌

雪解の楡陵の

鈴木信夫君 作歌
竹山賢治君 作曲

一

雪解(ゆきげ)の楡陵(をか)の一流(ひとすぢ)や
岸辺(きしべ)に憩(いこ)ふ水鳥(みづとり)の
孤影(すがた)ぞしばし春(はる)の水面(みお)
ああ石狩(いしかり)の天空(そら)は晴(は)れて
轟(とどろ)け謳(うた)ふ恵迪(けいてき)の
児等(こら)が生命(いのち)や聖(きよ)からん



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和十九年寮歌

雪解の楡陵の

鈴木信夫君 作歌
竹山賢治君 作曲

二

歓喜憂苦を共にせむ
結ぶ契の盃に
松の枝漏るる月影や
人生意気に感じてか
集ひし雁の行く手稲
青雲の峯巍峨の峯







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和十九年寮歌

雪解の楡陵の

鈴木信夫君 作歌
竹山賢治君 作曲

三

いざや伝統(つたへ)の聖火(ひ)を翳(かざ)し
先人(せんじん)の絢夢(ゆめ)偲(しの)びつつ
寮祭(まつり)の庭(にわ)に四十回(よそたび)の
春風(はるかぜ)頬涙(ほほ)を乾(ほ)すなれば
散(ち)りゆく夜迷雲(くも)のかげ消(き)えて
声(こゑ)を限(かぎ)りの感激(おもひ)かな



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ



北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十年寮歌

生命の旅路

―輝かしき首途のときに―

幸坂彪君 作歌

新井忠雄君 作曲

昭和二十年寮歌

生命の旅路

―輝かしき首途のときに―

幸坂彪君 作歌

新井忠雄君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十年寮歌

生命の旅路

―輝かしき首途のときに―

幸坂彪君 作歌

新井忠雄君 作曲

一

流転永世の旅衣
四大の神秘尋はんにも
若き生命の寂寥に
遠き真理の暁星一つ
起伏知らに慕ひゆく
孤影簫々の荒野に消えぬ



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十年寮歌

生命の旅路

―輝かしき首途のときに―

幸坂彪君 作歌

新井忠雄君 作曲

三

寮窓辺に泣くや人性の
運命の羈絆固ければ
愛と誠に身をせめつ
高謳ふ哉美し青春の
剛毅の蔭の浄涙をば
白珠碗に掬ばなむ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十一年寮歌

時潮の波の

渋谷富業君 作歌

寺井幸夫君 作曲

昭和二十一年寮歌

時潮の波の

渋谷富業君 作歌

寺井幸夫君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十一年寮歌

時潮の波の

渋谷富業君 作歌
寺井幸夫君 作曲

序

厳(きび)しかる道(みち)に仕(つか)へて
限(かぎり)ある玉緒(たまのを)惜(を)しむ
げにさあれ深(ふか)き因縁(えにし)の
魂(たま)ゆする生命(いのち)の饗宴(うたげ)
汲(く)まざらめや残(のこん)の月(つき)に
旅(たび)の朝早(あさはや)くは明(あ)けぬ

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和二十一年寮歌

時潮の波の

渋谷富業君 作歌
寺井幸夫君 作曲

一

時潮(じてう)の波(なみ)の寄(よ)する間(ま)を
久遠(くをん)の岸(きし)に佇(たたず)みて
不壊(ふゑ)の真珠(またま)を漁(いさ)りする
嗚呼(あゝ)三星霜(みつとせ)の光栄(くわうえい)よ
緑(みどり)の星(ほし)を夢(ゆめ)む時(とき)
疎梢(こずゑ)を払(はら)ふ天籟(てんらい)は
秘誦(ひしょう)の啓示(さとし)語(かた)るなり



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和二十一年寮歌

時潮の波の

渋谷富業君 作歌
寺井幸夫君 作曲

結

近(ちか)きかな楡陵(をか)を去(さ)る日(ひ)は
還(かへ)り来(こ)ぬ足跡(あと)愛(かな)しみて
ひたぶると打笑(うちゑ)む時(とき)ぞ
求(もと)めつつ得(う)べからざりし
秀邃(うるは)しき真理(まこと)の道(みち)は
はろかなり我等(われら)が前途(ゆくて)
進(すす)まざらめや



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十二年寮歌

暁の渚離りて

篠原昭壽君 作歌

竹内五男君 作曲

昭和二十二年寮歌

暁の渚離りて

篠原昭壽君 作歌

竹内五男君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十二年寮歌

暁の渚離りて

篠原昭壽君 作歌
竹内五男君 作曲

一

暁(あかつき)の渚離(なぎさか)りて
ふるきもの光(ひかり)なきもの
底(そこ)ひなき海(うみ)に抛(はふ)れば
いささけき水輪(みなわ)が呼(よ)ばふ
想(おも)ひ出(で)の古(ふ)りし仕草(しぐさ)に
告(っ)ぐるなりいたき別(わか)れを







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十二年寮歌

暁の渚離りて

篠原昭壽君 作歌
竹内五男君 作曲

二

永遠(とこと)は
永遠に絶(た)ゆることなく
ひたひたと寄(よ)する波間(なみま)に
万象(くさぐさ)のよみがへりしを
はぐくみしなさけ忘(わす)れず
真実(しんじつ)の旗幟(きし)を取(と)り持(も)ち
いゆくものひたあゆむもの



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十二年第四十回記念祭歌

浅緑燃ゆる

山家貫之君 作歌

堀井洵君 作曲

昭和二十二年第四十回記念祭歌

浅緑燃ゆる

山家貫之君 作歌

堀井洵君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十二年第四十回記念祭歌

浅緑燃ゆる

山家貫之君 作歌

堀井洵君 作曲

一

浅緑燃ゆる北の曠里
荒ぶ嵐を身に受けて
神秘の扉開け放ち
雄叫び高く濁世に
叱咤の剣を振るふかな







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十二年第四十回記念祭歌

浅緑燃ゆる

山家貫之君 作歌

堀井洵君 作曲

二

沈黙(しじま)の楡林(もり)のほの暗(ぐら)く
友(とも)と高望(のぞみ)を語(かた)りてし
三年(みとせ)の夢(ゆめ)は淡(あは)くとも
羽搏(はばた)かんかな大鳳(たいほう)は
アンデスの嶺越(みねこ)えゆかん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十二年第四十回記念祭歌

浅緑燃ゆる

山家貫之君 作歌

堀井洵君 作曲

四

北斗(ほくと)の啓示(さとし)なほ清(きよ)く
今宵(こよひ)四寮(しれう)に輝(かがや)けば
猛(たけ)き遊児(ゆうじ)の熱血(ねっけつ)は
ナイルの河(かは)のなほ浩(ひろ)く
乱(みだ)れし世(よ)をば呑(の)みほさん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十二年第四十回記念祭歌

浅緑燃ゆる

山家貫之君 作歌

堀井洵君 作曲

五

青史(せいし)は薫(かを)る七十星霜(なそとせ)の
崇高(たか)き歴史(れきし)を承継(うけつ)ぎて
明日(あす)創造(さうざう)の首途(かどいで)に
今日四十回(きょうよそたび)の記念祭(きねんさい)
浩歌(たかうた)はんかな吾(わ)が友(とも)よ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十三年寮歌

饗宴の杯に

中坪清八君 作歌

堀井洵君 作曲

昭和二十三年寮歌

饗宴の杯に

中坪清八君 作歌

堀井洵君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十三年寮歌

饗宴の杯に

中坪清八君 作歌

堀井洵君 作曲

一

饗宴(うたげ)の杯(つき)に淡(うす)れゆく
手稲(ていね)の峰(みね)に今(いま)しばし
追憶(おもひ)止(とど)めて涙(なみだ)する
逝(ゆ)く水(みづ)はやき三春秋(みつとせ)の
絵巻(ゑまき)はやがて尽(つ)きざらん
優(ゆか)しき薫香(かをり)遺(のこ)しつつ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十三年寮歌

饗宴の杯に

中坪清八君 作歌
堀井洵君 作曲

六

楡（エルム）の鐘声（かね）に逝（ゆ）く青春（はる）の
神秘（くしび）を解（と）かん花莚（はなむしろ）
朝（あした）はろけき旅（たび）を行（ゆ）く
郭公鳥（くわくこうどり）よ永遠（とこしへ）に
黒百合咲（くろゆりさ）ける石狩（いしかり）の
汝（な）が故郷（ふるさと）を憶（おぼ）えよや



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和二十三年逍遙歌

春静寂なる

中島通雄君 作歌

佐々木淳君 作曲

昭和二十三年逍遙歌

春静寂なる

中島通雄君 作歌

佐々木淳君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十三年逍遙歌

春静寂なる

中島通雄君 作歌

佐々木淳君 作曲

一

春静寂(はるしづか)なる石狩(いしかり)の
曠野(の)に漂泊(さすら)ひて人(ひと)を哭(な)き
秋蕭々(あきせうせう)の寮窓(まど)に倚(よ)り
夕雲遠(ゆふぐもとほ)く友(とも)を呼(よ)ぶ
北斗(ほくと)の啓光(ひかり)さしそえど
哀(あは)れ悲(かな)しき旅(たび)ならむ



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ



昭和二十四年寮歌

彷徨へる心のままに

池田基君 作歌

伊藤嘉弘君 作曲

昭和二十四年寮歌

彷徨へる心のままに

池田基君 作歌

伊藤嘉弘君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十四年寮歌

彷徨へる心のままに

池田基君 作歌

伊藤嘉弘君 作曲

序

彷徨(さまよ)へる心(こころ)のままに
見返(みかえ)りの陵(をか)を登(のぼ)れば
野(の)は遙(はる)か去(い)にし日(ひ)の面影(かげ)
簫々(せうせう)の闇(やみ)にとけゆく
斯(か)くあるは人(ひと)の宿命(さだめ)か
天地(あめつち)に星(ほし)の飛(と)ぶなり



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十四年寮歌

彷徨へる心のままに

池田基君 作歌

伊藤嘉弘君 作曲

冬

雪(ゆき)の舞(ま)ふ砂丘(さきう)薄(うす)れて
光輝(ひかり)なき旧(ふ)りし仕種(しぐさ)は
忘却(ばうきゃく)の寄(よ)する汐音(しほね)に
消(き)え去(さ)りぬ名残(なごり)の水際(みぎは)
叫(さけ)ぶには余(あま)りに深(ふか)く
涙(なみだ)には余(あま)りに虚(むな)し



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和二十四年寮歌

彷徨へる心のままに

池田基君 作歌
伊藤嘉弘君 作曲

結

三春秋(みつとせ)の絢夢原(ゆめもり)始林影(かげ)に
散(ち)り果(は)てて悲哀(ひあい)を秘(ひ)めつ
陵(をか)を去(さ)る遊子(ゆうし)の瞳(ひとみ)
又燃(また)えぬ愛情(あい)と決意(けつい)に
暁(あかつき)の新(あら)たな旅出(たびで)
永遠(とこしえ)に時(とき)は流(なが)れぬ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十五年寮歌

悠遠き日にあこがれて

高倉和昭君 作歌

金井倶光君 作曲

昭和二十五年寮歌

悠遠き日にあこがれて

高倉和昭君 作歌

金井倶光君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十五年寮歌

悠遠き日にあこがれて

高倉和昭君 作歌
金井倶光君 作曲

一

悠遠き日にあこがれて吾は来たりぬ
北国の詩の都ぞ
やはらかき緑の芝生
美はしき小川の畔
清明の森蔭深く訪ね来て
新らしき喜びに満つ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十六年寮歌

新らたなり天地

長尾久司君 作歌

小林滋宗君 作曲

昭和二十六年寮歌

新らたなり天地

長尾久司君 作歌

小林滋宗君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十六年寮歌

新らたなり天地

長尾久司君 作歌
小林滋宗君 作曲

一

新(あ)らたなり天地(あめつち)
光(ひかり)あり北(きた)の学舎(まなびや)
二年(ふたとせ)を心(こころ)に契(ちぎ)る
若(わか)き日(ひ)の生命(いのち)の郷(さと)に
誇(ほこ)らなん自治(じち)と自由(じゆう)の
四十星霜(よそとせ)の高(たか)き伝統(つたえ)よ
おごそかに遺訓(おしえ)をこめて
楡鐘(かね)は響(ひび)かん

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和二十六年寮歌

新らたなり天地

長尾久司君 作歌
小林滋宗君 作曲

二

雄大(おお)いなり天地(あめつち)
永劫(えいごう)の時潮(とき)の流(なが)れよ
悠久(ゆうきゅう)の神秘(くしび)をひめし
うるわしき石狩(いしかり)の野(の)に
うたわなん希望(きぼう)のうたを
魂(たま)ゆする雄叫(おたけ)びの日(ひ)に
あこがれと正義(せいぎ)の旗(はた)を
かざし進(すす)まん

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和二十六年寮歌

新らたなり天地

長尾久司君 作歌
小林滋宗君 作曲

三

きびしかる天地(あめつち)
野(の)にすさぶ試練(しれん)の嵐(あらし)
苦(くる)しみを越(こ)えて幸(さち)あり
たゆみなく求(もと)めて得(え)たり
輝(かがや)ける久遠(くおん)の真理(まこと)
よろこびの若(わか)き力(ちから)に
創造(きず)き行(ゆ)く恵迪(けいてき)の寮(りょう)
とわに栄(さか)えん



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ



昭和二十七年寮歌

永遠の水のひろごり

村上啓司君 作歌

田畑実君 作曲

昭和二十七年寮歌

永遠の水のひろごり

村上啓司君 作歌

田畑実君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十七年寮歌

永遠の水のひろごり

村上啓司君 作歌
田畑実君 作曲

一

永遠の水の広ごり
去にし全ての名残りをしるす
陽の光水の面にわたらず
厚き雲の低くたれたり
大いなる水と強き風との
須臾なる静けさ今ぞ破れん
無限の過去の名残りを無みと
今こそ吾等雄々しく立たん

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和二十八年寮歌

手をとりて美しき国を

山本玉樹君 作歌

三河勝彦君 作曲

昭和二十八年寮歌

手をとりて美しき国を

山本玉樹君 作歌

三河勝彦君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和二十八年寮歌

手をとりて美しき国を

山本玉樹君 作歌
三河勝彦君 作曲

一

倒れたる友の姿を
忘るまじ我らが胸に
恐ろしき雲空に充ち
けがれたる祖国の山河に
新しき緑の息吹が
若者の槌音に和し
もろ人の幸深めつつ
この町にこだます日まで



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和二十八年寮歌

手をとりて美しき国を

山本玉樹君 作歌
三河勝彦君 作曲

二

沸き出でよ新らしき歌
消すまじ自由の歌を
わだつみの声をばひめて
去り果てし若き生命に
たくましき若き鼓動が
美しき歌声に和し
平和なる国を築くと
海こえてこだます日まで



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和三十年寮歌

悲歌に血吐きし

柳田和朗君 作歌

菅原幸雄君 作曲

昭和三十年寮歌

悲歌に血吐きし

柳田和朗君 作歌

菅原幸雄君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十年寮歌

悲歌に血吐きし

柳田和朗君 作歌
菅原幸雄君 作曲

序

悲歌(ひか)に血吐(ちは)きし我(われ)らもが
永劫不変(えいごうふへん)を探求(もと)めんと
遙々漂泊来(はるばるさすらいき)たりても
赤(あか)き浜茄子摘(はなますつ)みとりて
悪魔牛耳(あくまぎゅうじ)り詩吟(しぎん)する
天下不仰(てんかふぎょう)の寂寥児(せきりょうじ)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十年寮歌

悲歌に血吐きし

柳田和朗君 作歌
菅原幸雄君 作曲

結

年古る樹々は皆朽ちて
生の心が落葉の
記憶の底に沈みいで
悲哀の涙ほとばしる
世の暗闇にひそめども
去る二年を謳歌えんや







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十二年寮歌

花繚乱の

前島一淑君 作歌・作曲

昭和三十二年寮歌

花繚乱の

前島一淑君 作歌・作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十二年寮歌

花繚乱の

前島一淑君 作歌・作曲

一

花繚乱(はなりょうらん)の夢(ゆめ)に酔(よ)い
地(ち)の囁(ささや)きの音(ね)に伏(ふ)せば
草湫々(くさしゅうしゅう)の声(こえ)すなり

二

夜光(やこう)流(なが)るる芝草(しばくさ)や
辛夷(こぶし)の花(はな)の香(か)に迷(まよ)う
遠(とお)き憧(あこが)れ逝(い)にし日(ひ)よ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十二年寮歌

花繚乱の

前島一淑君 作歌・作曲

三

窓辺(まどべ)に招(まね)く 幻(まぼろし)の
影(かげ)にあくがれ彷徨(さまよ)えば
森(もり)に桂(かつら)の火(ひ)は燃(も)えぬ

四

今紅(いまくれない)の篝火(かがりび)よ
裸形(らぎょう)の友は肩組(かたく)みて
去(さ)り行(ゆ)く青春(はる)を惜(お)しむかな

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和三十二年寮歌

花繚乱の

前島一淑君 作歌・作曲

五

静寂甦りぬ春の宵
銀漢の下希望なる
支笏の湖に星は飛ぶ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十二年第五十回記念祭歌

花咲き散りて

佐伯政英君　作歌

小椋進君　作曲

昭和三十二年第五十回記念祭歌

花咲き散りて

佐伯政英君 作歌

小椋進君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十二年第五十回記念祭歌

花咲き散りて

佐伯政英君 作歌

小椋進君 作曲

一

花咲(はなさ)き散(ち)りて五十年(いそとせ)の
実(みの)りの秋(あき)ぞ幸多(さちおお)く
ここに我等(われら)が記念祭(きねんさい)
寮友(とも)よ歌(うた)えよいざやいざ



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十二年第五十回記念祭歌

花咲き散りて

佐伯政英君 作歌

小椋進君 作曲

三

楡(にれ)の大樹(たいじゅ)に尋(たず)ぬれば
誇(ほこ)らしげにぞ答(こた)えたる
吾(われ)が先人(せんじん)の青春(はる)の理想(ゆめ)
寮友(とも)よ讃(たた)えよいざやいざ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十二年第五十回記念祭歌

花咲き散りて

佐伯政英君 作歌

小椋進君 作曲

三

歌声原始林(うたごえもり)にこだまして
爆笑夜空(ばくしょうてん)をつんざけば
楡(にれ)の精(せい)さえ踊(おど)らなん
寮友(とも)よ踊(おど)れよいざやいざ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十二年第五十回記念祭歌

花咲き散りて

佐伯政英君 作歌

小椋進君 作曲

四

我等(われら)が誇(ほこ)る自治寮(じちりょう)に
五十回(いそたび)めぐる記念祭(きねんさい)
さらに栄(はえ)ゆく此(こ)の寮(りょう)を
寮友(とも)よ讃(たた)えよいざやいざ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十三年寮歌

吾れ憧れし

佐伯政英君 作歌

佐藤一正君 作曲

昭和三十三年寮歌

吾れ憧れし

佐伯政英君 作歌

佐藤一正君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十三年寮歌

吾れ憧れし

佐伯政英君 作歌
佐藤一正君 作曲

一

吾れ憧れし美の国の
春は名のみの春なれど
雪解の水に甦る
野面に充ち満つ生命あり



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十三年寮歌

吾れ憧れし

佐伯政英君 作歌
佐藤一正君 作曲

三

遠(とお)くふるさと離(はな)れ来(こ)し
寮友(とも)と睦(むつみ)の杯酌(つきく)めば
今日(きょう)も手稲山(ていねやま)に夕映(ゆうば)えて
鐘声(しょうせい)はろかに快(こころ)よし



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十三年寮歌

吾れ憧れし

佐伯政英君 作歌

佐藤一正君 作曲

三

楡(にれ)の木蔭(こかげ)に憩(いこい)せば
紫紺(しこん)の峰(みね)をこえゆきて
父母(ちちはは)いかに君(きみ)いかに
つきるを知(し)らぬ吾(わ)が懐(おも)い







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十三年寮歌

吾れ憧れし

佐伯政英君 作歌
佐藤一正君 作曲

四

ただ茫漠(ぼうばく)の大平野(だいへいや)
静寂(しじま)の夜(よる)は更(ふ)けゆきて
囲(かこ)む焚火(たきび)も暗(やみ)に消(き)え
夜空(よぞら)彩(いろど)る北斗星(ほくとせい)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十四年寮歌

清き生命の

吉野生壮君 作歌

中川清吾君 作曲

昭和三十四年寮歌

清き生命の

吉野生壮君 作歌

中川清吾君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十四年寮歌

清き生命の

吉野生壮君 作歌
中川清吾君 作曲

一

清き生命の初潮に
大なる志を打ち樹てむ
学び舎の緑消えんとすれど
求めて止まぬ探求の
心は常に変る事なく







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十五年寮歌

茫洋の海

三浦清一郎君 作歌

前野紀一君 作曲

昭和三十五年寮歌

茫洋の海

三浦清一郎君 作歌

前野紀一君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十五年寮歌

茫洋の海

三浦清一郎君 作歌
前野紀一君 作曲

一

茫洋(ぼうよう)の海(うみ)に憧(あこが)れ
峻険(しゅんけん)の峰(みね)を慕(した)いて
北国(きたぐに)の大地(ち)に旅行(たびゆ)けば
溢(あふ)れ満(み)つ夢若(ゆめわか)さ
果(は)てしなく広(ひろ)ごれる地平線(ちへいせん)



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十五年寮歌

茫洋の海

三浦清一郎君 作歌
前野紀一君 作曲

二

曇(くも)りなき心(こころ)求(もと)め
厳(きび)しかる努(つと)めの道(みち)に
真(まこと)なる美(び)を探(さぐ)らんと
人(ひと)の世(よ)の旅(たび)にして
結(むす)ばれし二年(ふたとせ)の宿(やど)なれや







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十五年寮歌

茫洋の海

三浦清一郎君 作歌
前野紀一君 作曲

三

移り行く時にはあれど
涙して誓いし言葉
尊しや若き日の夢
春秋の十年の後に
思い出声もなく偲ばんや







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十六年寮歌

甦えれ白き辛夷よ

小川徳人君 作歌

脇地炯君 作曲

昭和三十六年寮歌

甦えれ白き辛夷よ

小川徳人君 作歌

脇地炯君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十六年寮歌

甦えれ白き辛夷よ

小川徳人君 作歌
脇地炯君 作曲

一

甦(よみが)えれ白(しろ)き辛夷(こぶし)よ
吐息(といき)なす憂悶(くるしみ)の日(ひ)も
寂寞(せきばく)のまどろみも去(さ)り
オホーツクの水(みず)やわらぎて
流氷(りゅうひょう)の群軋(むれきし)める国(くに)に
彷徨(さまよい)のい着(つ)きしを知(し)る
朽葉(くちは)ぬき頭(あたま)もたげし若(わか)き息吹(いぶき)は
わが若(わか)き日(ひ)の昏迷(こんめい)を掻(か)く

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和三十七年寮歌

壁歌は語る

執行洋視君 作歌

助川秀三郎君 作曲

昭和三十七年寮歌

壁歌は語る

執行洋視君 作歌

助川秀三郎君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十七年寮歌

壁歌は語る

執行洋視君 作歌

助川秀三郎君 作曲

一

壁歌(へきか)は語(かた)る幾星霜(いくせいそう)
集(あつま)り散(さん)ず若人(わこうど)が
夜々(よよ)に語(かた)りの苦悩(くのう)の記(き)
日々(ひび)に語(かた)りたる歓喜(かんき)の記(き)
ああその意気(いき)は永遠(とわ)に栄(さか)えん



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十七年寮歌

壁歌は語る

執行洋視君 作歌

助川秀三郎君 作曲

二

壁歌(へきか)は続(つづ)く百年(ももとせ)に
美辞(びじ)をば嫌(きら)いし若人(わこうど)が
好機(こうき)に変(か)えたる時流(ときなが)れの言(げん)
好機(こうき)に乗(の)りし時流(ときなが)れの波(なみ)
ああその思出(おもい)いつか崩(くず)れん



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十七年寮歌

壁歌は語る

執行洋視君 作歌

助川秀三郎君 作曲

三

壁歌(へきか)は残(のこ)る千代(せんだい)に
日夜(にちや)ひもとき探索(たんさく)に
我(われ)が捨(す)てたる邪道(よこしま)よ
我(われ)が容(い)れたる真理(まごころ)よ
ああその純情(こころのち)後(のち)に偲(しの)ばん



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十八年寮歌

凋落正に秋深し

諏訪正明君 作歌

宮田睦彦君 作曲

昭和三十八年寮歌

凋落正に秋深し

諏訪正明君 作歌

宮田睦彦君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十八年寮歌

凋落正に秋深し

諏訪正明君 作歌
宮田睦彦君 作曲

一

楡(にれ)が木(こ)の葉(は)の秋風(あきかぜ)に
吹(ふ)かれて落(お)つる芝草(しばくさ)に
佇(たたず)む男子(おのこ)の胸(むね)の中(うち)
散(ち)りしく落葉(おちば)の数(かず)知(し)れず
凋落(ちょうらく)正(まさ)に秋深(あきふか)し







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十八年寮歌

凋落正に秋深し

諏訪正明君 作歌
宮田睦彦君 作曲

二

仄青白き月影の
銀杏並木の夜歩きは
小さき鳥の乱れ飛び
路面覆える金色に
憂愁正に秋深し







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十八年寮歌

凋落正に秋深し

諏訪正明君 作歌
宮田睦彦君 作曲

三

寮(りょう)が窓越(まどこ)し蔦(つた)の葉(は)も
黄色(きいろ)く紅(あか)く色(いろ)づきて
梢(こずえ)を揺(ゆ)する秋風(あきかぜ)に
鳴(な)るは心(こころ)のため息(いき)か
寂寥正(せきりょうまさ)に秋深(あきふか)し



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十八年寮歌

凋落正に秋深し

諏訪正明君 作歌
宮田睦彦君 作曲

四

ゆえだもあらぬこの悩(なや)み
心(こころ)の底(そこ)に滲(し)み入(い)りて
ぬぐいも切(き)れずただ涙(なみだ)
流(なが)れ落(お)ちては地(ち)に吸(す)われ
懊悩(おうのう)正(まさ)に秋深(あきふか)し



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和三十九年寮歌

偉大なる北溟の自然

司馬威彦君 作歌・作曲

昭和三十九年寮歌

偉大なる北溟の自然

司馬威彦君 作歌・作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十九年寮歌

偉大なる北溟の自然

司馬威彦君 作歌・作曲

序

偉大(おおい)なる北溟(きた)の自然(しぜん)は
我(わ)が眼前(まえ)に限(かぎ)りなく広(ひろ)ごりて
野(の)に満(み)てる清冽(せいれつ)の気(き)は
雄々(おお)しくも気高(けだか)き情懐(こころ)もて
嶮路(けんろ)遙(はろ)かに辿(たど)り来(こ)し
遊子(ゆうし)が胸(むね)を今(いま)や満(みた)しぬ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和三十九年寮歌

偉大なる北溟の自然

司馬威彦君 作歌・作曲

一

颪々(ひょうひょう)の北風(きたかぜ)は荒(すさ)び
白銀(しろがね)の華大地(はなだいち)覆(おお)えど
そははろかなる古(いにしえ)より
汚(けが)れなき美(び)の世界(せかい)なれば
若人(わこうど)はひたぶるの
愁(おも)いを秘(ひ)めて
異邦(とつくに)ゆ憧憬(あこが)れ集(つど)いぬ



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和三十九年寮歌

偉大なる北溟の自然

司馬威彦君 作歌・作曲

結

されど視よ我等が周囲を
邪悪なる権力は四方に荒び
我等が愛し誇らん自治の砦に
暴逆の 誡は課されんとす
されば我が寮友よ腕むすびて
今ぞ正義の旗を高くかかげん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十年寮歌

新しき陽は

金子公良君 作歌

西雪弘光君 作曲

昭和四十年寮歌六十回記念祭歌

新しき陽は

金子公良君 作歌

西雪弘光君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十年寮歌六十回記念祭歌

新しき陽は

金子公良君 作歌
西雪弘光君 作曲

一

新(あたら)しき陽(ひ)は今昇(いまのぼ)り
空(そら)のはて黎明(れいめい)を告(つ)ぐ
黒(くろ)き雲西(くもにし)に流(なが)れん
吹(ふ)きすさぶ嵐(あらし)をつきて
平和(へいわ)をと声(こえ)は轟(とどろ)く



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十年寮歌六十回記念祭歌

新しき陽は

金子公良君 作歌
西雪弘光君 作曲

四

真実(しんじつ)の鐘鳴(かねな)り響(ひび)き
森影(もりかげ)にどよめきのわく
自治(じち)の旗風(はたかぜ)にゆらめき
名(な)を留(とど)む伝(つた)え守(まも)りて
恵迪(けいてき)は今(いま)よみがえる



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

序

重畳たる手稲
藻岩の山脈を
吾が宿舎の青垣となし
鬱乎たる原始の叢林を
吾が逍遙の小径となす。
吾が寮友よ草原に出でよ、
暗き孤城より出でんかな。

序

深遠き蒼穹あまりに青く、
輝く雪原あまりに白し。

さればよし
その身は平々凡々ならんとも、
吾等が野望尽くるを知らず。
静寂を破る蛮声に、
吹雪鎮むる高吟に
青春の意気託しなん

序

昭和四十一年寮歌

いつの日か生命結ばん

須藤洋一君 作歌

吉川正文君 作曲

昭和四十一年寮歌

いつの日か生命結ばん

須藤洋一君 作歌
吉川正文君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十一年寮歌

いつの日か生命結ばん

須藤洋一君 作歌
吉川正文君 作曲

一

いつの日か生命結ばん
碧空高き楡よポプラよ
黄金なす銀杏並木よ
枯れ枯れと曠野に朔風吹けば
荒涼の憂愁よぎりぬ



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十一年寮歌

いつの日か生命結ばん

須藤洋一君 作歌
吉川正文君 作曲

二

島松の雪の路上に
手を振りし遠き日の夢
去り行きぬ偉大なる巨影
君聞くや馬上の声を
広ごれる石狩の原野に







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十一年寮歌

いつの日か生命結ばん

須藤洋一君 作歌
吉川正文君 作曲

五

睦(むつ)み来(き)て親友(とも)は高唱(うた)えど
舌苦(したにが)き地酒(さけ)に酔(よ)い痴(し)れ
ストームに身(み)は狂乱(くる)うとも
忘(わす)れ得(え)じ果(は)てなき旅路(たびじ)
この惆悵誰(うらみだれ)に語(かた)らん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十一年寮歌

いつの日か生命結ばん

須藤洋一君 作歌
吉川正文君 作曲

六

暖(あたた)かき光(ひかりもと)求めて
彷徨(さまよ)えり冷(つめ)たき野末(のずえ)
北国(きたぐに)に春来(はるきた)りなば
若(わか)き日(ひ)の稚(わか)き愁思(うれい)は
雪(ゆき)の如(ごと)融(と)けて流(なが)れん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十二年寮歌

寒気身を刺す

岡田雄三君 作歌

森田弘彦君 作曲

昭和四十二年寮歌

寒気身を刺す

岡田雄三君 作歌

森田弘彦君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十二年寮歌

寒気身を刺す

岡田雄三君 作歌
森田弘彦君 作曲

一

寒気身を刺す北国の
永遠に名を覇す恵迪寮
四百野人の集いしに
我等が理想何時の日か
成さざらむとぞ意気高し







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十二年寮歌

寒気身を刺す

岡田雄三君 作歌
森田弘彦君 作曲

二

窈窕多し札幌に(ようちょうおおさっぽろ)
弊衣破帽の身なれども(へいいはぼうのみ)
一度歌わば蛮声の(ひとたびうたばんせい)
遠く手稲に木霊して(とおくていねこだま)
嗚呼誰か知る吾が野心(ああだれしるわがやしん)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十二年寮歌

寒気身を刺す

岡田雄三君 作歌
森田弘彦君 作曲

三

燃ゆる紅原始林
尽きぬ想いを酒杯に
酔えば肩取り乱舞する
吾等が行先に光明あり
楽しからずや此の饗宴







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十二年第六十回記念祭歌

芳香漂う

稲田雅久君 作歌

名田正信君 作曲

昭和四十二年第六十回記念祭歌

芳香漂う

稲田雅久君 作歌

名田正信君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十二年第六十回記念祭歌

芳香漂う

稲田雅久君 作歌
名田正信君 作曲

一

芳香漂うやわらかの
残んの春の夕間暮
朧にかかる夕月に
浮かぶ辛夷の花吹雪

ああ鳴り止みて聞えこぬ
色壮麗の鐘の音は
六十路の夏に鳴らざるや
いま黄昏の自治の庭

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和四十二年第六十回記念祭歌

芳香漂う

稲田雅久君 作歌
名田正信君 作曲

六

寮友の顔に篝火の
炎もわらう記念祭
歌をうたわば玉響の
憂さも舞い飛ぶ火の粉なり
いざ高らかに祭歌
はやる太鼓の轟きは
夜空を深く駆け抜けて
北斗に和する生命なり



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ



昭和四十三年寮歌

樹梢霧海に

新橋登君 作歌

佐藤菊男君 作曲

昭和四十三年寮歌

樹梢霧海に

新橋登君 作歌

佐藤菊男君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十三年寮歌

樹梢霧海に

新橋登君 作歌

佐藤菊男君 作曲

一

樹梢霧海に消え入りて
北溟牙城の夏の宵
難攻不落を誇りしも
時凋衰の風強し







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十三年寮歌

樹梢霧海に

新橋登君 作歌

佐藤菊男君 作曲

四

いざ寮友(ともだち)ようたわなん
あすの生命(いのち)を闘(たたか)うと
万花乱(ばんかみだ)るる春(はる)の日(ひ)に
高遠(たか)き大望(のぞみ)を目指(めざ)さんや







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十三年寮歌

樹梢霧海に

新橋登君 作歌

佐藤菊男君 作曲

転句

楡陵(ゆりょう)の二春(にしゅん)に宿(やど)せる白露(しらつゆ)の
生命(いのち)短命(みじか)にして吉(よ)しとする
さにあらば吾等(われら)が友(とも)よ
久遠(とわ)なる星(ほし)に
崇厳(すうげん)に大志(たいし)を告(つ)げるべく
今高(いまたか)らかに誓(ちか)いけん



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十四年寮歌

孤独に満てる

山崎芳行君 作歌

服部泰明君 作曲

昭和四十四年寮歌

孤独に満てる

山崎芳行君 作歌

服部泰明君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十四年寮歌

孤独に満てる

山崎芳行君 作歌
服部泰明君 作曲

一

孤独に満てる我が青春に
何時しか遅春も訪ずれぬ
まだ萌えやらぬ芝生の上に
一片舞い散る桜花
朝露に濡れ新な寮友と
盃かわす楽しさよ
嗚呼我一人にあらずして
我が青春は寮友とあり



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和四十五年寮歌

秋逍遙

熊野芳明君 作歌

吉田守男君 作曲

昭和四十五年寮歌

秋逍遙

熊野芳明君 作歌

吉田守男君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十五年寮歌

秋逍遙

熊野芳明君 作歌
吉田守男君 作曲

未明
秋(あき)に秋(あき)添(そ)う時雨(しぐれづき)月
曙星(しょせいまたたた) 瞬(れんれんれん)く恋々と
されど近(ちか)づく蕭晨(しょうしん)に
幽愁(おもい)はつのるせつなくも
落涙(らくるい)しばし悄然(しょうぜん)と







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十五年寮歌

秋逍遙

熊野芳明君 作歌
吉田守男君 作曲

払暁

蕭晨(あさ)は来(き)にけり石狩(いしかり)の野
菊(きく)に滴(したた)る血(ち)の雫(しずく)
木(こ)の葉(は)さやぎぬ涼風(すずかぜ)に
野(の)を流離(さすら)えば深(ふか)き哀愁(うれい)
情(なさ)けの露(つゆ)を探求(もと)むなり



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十五年寮歌

秋逍遙

熊野芳明君 作歌
吉田守男君 作曲

初更

釣瓶落(つるべおと)しの秋(あき)の日(ひ)の
紫紺(しこん)の闇(やみ)に淡(あわ)く浮(う)く
利鎌(とがま)の秋月(つき)はあな悲(かな)し
きらめく長庚(ほし)にただ涙(なみだ)
己(おの)が運命(さだめ)か斯(か)くあるが



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十五年寮歌

秋逍遙

熊野芳明君 作歌
吉田守男君 作曲

深更
夢幻(ゆめまぼろし)か人(ひと)の世(よ)は
秋(あき)の百子夜(ももよ)に我悄然(われしょうぜん)
地平(ちへい)の彼方(かなた)へ冴星空(ほしぞら)を
過(よぎ)りて落(お)つる流(なが)れ星(ぼし)
ただただ涙(なみだ)は何故(なにゆえ)か







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十六年寮歌

朔北に

伊藤正朗君 作歌・作曲

昭和四十六年寮歌

朔北に

伊藤正朗君 作歌・作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十六年寮歌

朔北に

伊藤正朗君 作歌・作曲

一

朔北に手稲颪の咆哮絶えて
静寂に痛し遠汽笛
凍てつく雪原に寒月の
蒼き光の射しそえば
聳天樹の影は猛くして
虚空指す彼方宿り舎の
灯は今宵また旅人の
継ぎ培いし迪を諭せり



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和四十六年寮歌

朔北に

伊藤正朗君 作歌・作曲

二

朝焼けて南に風の起つ聞かば
北の都に春近く
雪融け水の溢れては
豊水の岸塵高し
黄ばむ空ゆく鳥もなく
土の香ぞする野幌路を
孤りそぞろに辿る日は
異郷の旅を思い佗ぶかな



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和四十六年寮歌

朔北に

伊藤正朗君 作歌・作曲

三

はろばろと続く沃野の玉葱畠
金に輝く北指して
延びる鉄路の傍に
かの石狩の文学碑
濁れる川に臨みては
沈む夏陽に涙する
回顧百年忘れずや
この地拓きし先人の夢



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和四十七年寮歌

楡陵に月は

加藤秀弘君 作歌

矢野哲憲君 作曲

昭和四十七年寮歌

楡陵に月は

加藤秀弘君 作歌

矢野哲憲君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十七年寮歌

楡陵に月は

加藤秀弘君 作歌
矢野哲憲君 作曲

一

楡陵(ゆりょう)に月(つき)は懸(かか)れども
星霜深(せいそうふか)き原始林(もりくら)暗し
蓁萋(しんせい)ゆらぐ風(かぜぁ)有れど
思(おも)い分(わ)かたん術(すべ)も無(な)し







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十七年寮歌

楡陵に月は

加藤秀弘君 作歌
矢野哲憲君 作曲

六

未明(みめい)に懸(かか)る白(しろ)き月(つき)
夢見(ゆめみ)し思(おも)う北溟(きた)の海(うみ)
憧(あこが)れ来(き)しは北溟(きた)の峰(みね)
呼々我前途(あわがみち)の行(ゆ)く果(はて)は

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和四十八年寮歌

冬の大地に

伊藤潤平君 作歌

矢野哲憲君 作曲

昭和四十八年寮歌

冬の大地に

伊藤潤平君 作歌

矢野哲憲君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十八年寮歌

冬の大地に

伊藤潤平君 作歌
矢野哲憲君 作曲

一

冬の大地に夢は醒め
旭日に浮ぶ白亜城
原始の森は樹氷咲き
西方空を眺むれば
新雪淡き手稲山







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十八年寮歌

冬の大地に

伊藤潤平君 作歌
矢野哲憲君 作曲

三

浜茄子(はまなす)の砂丘(おか)たたずみて
はるかに眺(なが)むオホーツク
知床(しれとこ)の嶺雪(みねゆき)かぶり
沈(しず)む入日(いりひ)に白鳥(はくちょう)の
飛影(かげ)ぞ哀(かな)しく消(き)え去(さ)りぬ

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和四十八年寮歌

冬の大地に

伊藤潤平君 作歌
矢野哲憲君 作曲

五

荒ぶ吹雪ぞ旅の魂
一年涙胸に秘め
我が夢かけるオリオンに
我が春永久に朽ちざらん
蝦夷が大地ぞ忘るまじ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十九年寮歌

北の都は

大森秀治君 作歌・作曲

昭和四十九年寮歌

北の都は

大森秀治君 作歌・作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十九年寮歌

北の都は

大森秀治君 作歌・作曲

一

北の都は開発かれて
喪失われゆく大自然
寮の姿も変われども
恵迪の名は永遠に



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十九年寮歌

北の都は

大森秀治君 作歌・作曲

三

残雪溶けて東風吹かば
大地は黒々と輝けど
川流絶えて水は涸れ
湿原に咲く花影なし







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和四十九年寮歌

北の都は

大森秀治君 作歌・作曲

六

警醒(けいせい)の鐘鳴(かねな)らせども
迷夢(めいむ)の夜(よる)は未(ま)だ明(あ)けず
行方(ゆくえ)も知(し)れぬ朔風(さくふう)に
心(こころ)の痛(いた)みつのるかな

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和四十九年寮歌

北の都は

大森秀治君 作歌・作曲

七

北(きた)に旅(たび)してこの宿(やど)に
仮寝(かりね)の夢(ゆめ)を貪(むさぼ)りて
過(す)ぎし歳月(としつきはやにねん)早二年
懐(なつ)かしさ満(み)つこの団居(まどい)



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十年寮歌

憧憬の故郷

佐藤守君 作歌

関川哲夫君 作曲

昭和五十年寮歌

憧憬の故郷

佐藤守君 作歌

関川哲夫君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十年寮歌

憧憬の故郷

佐藤守君 作歌
関川哲夫君 作曲

一

「汝(な)が故郷(ふるさと)は何処(いずこ)にありや」
熱(あつ)き血潮(ちしお)に身(み)は溢(あふ)れども
希望(のぞみ)を胸(むね)に行方(ゆくえ)も知(し)れず
朔風(かぜ)に身(み)を寄(よ)せ漂泊(さすら)い出(い)でん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十年寮歌

憧憬の故郷

佐藤守君 作歌
関川哲夫君 作曲

二

聳(そび)ゆるポプラは何(なに)をか象徴(しる)し
遙(はる)かな大地(だいち)は何語(なにかた)るらん
渺茫(びょうぼう)の地(ち)に理想(ロマン)を秘(ひ)めて
真摯(しんし)の道(みち)を歩(あゆ)みゆかん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十年寮歌

憧憬の故郷

佐藤守君 作歌
関川哲夫君 作曲

三

逍遙(しょうよう)の詩静寂(しじま)に透(とお)り
曠野(の)を一人(ひとり)ゆく吾(われ)佇(たたず)めば
日輪幽寂(にちりんしずか)に手稲(ていね)の端(は)にて
朱(しゅ)に染(そ)まらん哉原始(かなげんし)の森(もり)は







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十年寮歌

憧憬の故郷

佐藤守君 作歌
関川哲夫君 作曲

四

嗚呼寮友よ夕の瞑想
己身に嘆けども憂愁はやまず
白銀の季節寮舎に在りて
熱き心を語り明かせよ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十年寮歌

憧憬の故郷

佐藤守君 作歌
関川哲夫君 作曲

五

光幽(ひかりかそ)けき憧憬(しょうけい)の故郷(さと)
霞静(かすみしず)かに流(なが)れ渡(わた)りて
新緑(しんりょく)にみる自然(しぜん)の黙示(もくし)
北溟(きた)の大地(だいち)は我(わ)が故郷(ふるさと)か







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十一年寮歌

いつの日にか

小嶋茂君 作歌

真鍋利徳君 作曲

昭和五十一年寮歌

いつの日にか

小嶋茂君 作歌

真鍋利徳君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十一年寮歌

いつの日にか

小嶋茂君 作歌

真鍋利徳君 作曲

一

夜(よる)は巡(めぐ)り
限(かぎ)りなき光(ひかり)の束(たば)は
樹林(じゅりん)をつらぬきぬ
朝(あさ)の静寂(せいじゃく)の中一人(なかひとり)にて
無為(むい)の思(おも)いもち嘆(なげ)き憂(うれ)える
もう情熱(ねっ)もなく涙(なみだ)ながる

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和五十一年寮歌

いつの日にか

小嶋茂君 作歌
真鍋利徳君 作曲

四

女性(ひと)の清(きよ)き美(うつく)しさ
真摯(しんし)な理性(こころ)の輝(かがや)きにさそわれて
ほのかな恋(こい)の想(おも)い胸(むね)に
なれど結(むす)びえず
あまりに深(ふか)き心(こころ)のあがき
この暗(くら)さに



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十一年寮歌

いつの日にか

小嶋茂君 作歌
真鍋利徳君 作曲

五

深き森のささやき
清冷な川の流れに聞きいりて
清らかさの中我息しなん
物を思わなん
静けさの中とけこみいりて
いつの日にか







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十二年寮歌

新な燈火

石川徹君 作歌

元辻毅君 作曲

昭和五十二年寮歌

新な燈火

石川徹君 作歌

元辻毅君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十二年寮歌

新な燈火

石川徹君 作歌
元辻毅君 作曲

一

北国の荒ぶ吹雪に
楡の木の高く聳える
原始林の中果てる事なく
雄々しくて人の瞼に
何時迄も鮮やかに刻む
其の姿を恵迪寮は



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十二年寮歌

新な燈火

石川徹君 作歌
元辻毅君 作曲

二

憂愁(ゆうしゅう)と理想(りそう)を胸(むね)に
爽(さわ)やかに寮友(とも)は去(さ)り行(ゆ)く
夜(よ)を徹(とお)し未来(みらい)の事(こと)を
御互(おたがい)に語(かた)った部屋(へや)に
思出(おもいで)の言葉(ことば)を残(のこ)し
懐(なつ)かしい恵迪寮(けいてきりょう)を

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和五十二年寮歌

新な燈火

石川徹君 作歌
元辻毅君 作曲

三

年月(としつき)に傾(かたぶ)く姿(すがた)
痛(いた)ましく懐(おも)いの残(のこ)る
部屋(へや)の壁崩(かべくず)れ落(お)ちて
昔(むかし)から点(とも)る燈火(ともしび)
今(いま)はもう細(ほそ)くなり行(ゆ)く
我々(われわれ)の恵迪寮(けいてきりょう)の

北海道大学 恵迪寮

Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十二年寮歌

新な燈火

石川徹君 作歌
元辻毅君 作曲

四

先人の残した燈火
心有る寮友よ絶やさず
思い見て新な燈火
今こそ探し求めて
点そう絶やす事なく
何時迄も恵迪寮に







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十三年寮歌

恵迪節

甲斐陽輔君 作歌・作曲

昭和五十三年寮歌

恵迪節

甲斐陽輔君 作歌・作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十三年寮歌

恵迪節

甲斐陽輔君 作歌・作曲

一

エイホホッホッ

エイホッホ エイホッホ

けむりを噴き出す

有珠の山 有珠の山

地をやぶる土の力こぶ

エイホッホ エイホッホ

大地の主の大あばれ 大あばれ

命がおしけりゃ

地べたにひれ伏せ おろかもの







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十三年寮歌

恵迪節

甲斐陽輔君 作歌・作曲

二

エイホッホ エイホッホ
塩を噴き出す
大くじら 大くじら
太平洋にはねる神の魚
エイホッホ エイホッホ
海の主の大あばれ 大あばれ
俺がこわけりゃ
海にぬかづけ おろかもの







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十三年寮歌

恵迪節

甲斐陽輔君 作歌・作曲

三

エイホッホ エイホッホ
大地(だいち)に根(ね)をはる恵迪寮(けいてきりょう) 恵迪寮(けいてきりょう)
深雪(みゆき)をとかす友(とも)の血潮(ちしお)

エイホッホ エイホッホ
二百五十(にひゃくごじゅう)の青春(せいしゅん)の くるい咲(ざ)き
若(わか)さがつらけりゃ
銀河(ぎんが)にさけべ おろかもの

エイホッホ エイホッホ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十三年第七十回記念祭歌

草は萠え出で

朝倉仁樹君　作歌

田坂幸平君　作曲

昭和五十三年第七十回記念祭歌

草は萠え出で

朝倉仁樹君 作歌

田坂幸平君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十三年第七十回記念祭歌

草は萠え出で

朝倉仁樹君 作歌
田坂幸平君 作曲

一

草(くさ)は萠(も)え出(い)で郭公(とり)は鳴(な)き
憧(あこが)れ睦(むつ)ぶ宿舎(やどりや)に
疾風怒涛(しっぷうどとう)の渦(うず)の中(なか)
明(あか)り求(もと)めて放浪(さまよ)いぬ
巷(ちまた)の塵(ちり)をふり払(はら)い
悠々迪(ゆうゆうみち)を歩(あゆ)まなん



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和五十三年第七十回記念祭歌

草は萠え出で

朝倉仁樹君 作歌
田坂幸平君 作曲

二

蛮声放歌乱舞する（ばんせいほうからんぶ）
姿雄々しき吾なれど（すがたおお）（われ）
原始林の可憐な白花に（もり）（かれん）（しらはな）
心ふるわす春もあり（こころ）（はる）
清き乙女子去りて行く（きよ）（おとめごさ）（ゆ）
恋に涙す秋もあり（こい）（なんだ）（あき）







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十三年第七十回記念祭歌

草は萠え出で

朝倉仁樹君 作歌
田坂幸平君 作曲

三

気高き野心の男の児等が
士幌に山小屋をうち建てぬ
十勝の山と平原に抱かれ
果てなく魂翔けるなり
厳しき北の大地より
新たな夢に飛びたたん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十三年第七十回記念祭歌

草は萠え出で

朝倉仁樹君 作歌
田坂幸平君 作曲

四

読み飲み語り夜は明け
熱き情に年は経り
ああ青春の祭日も
はや七十を数うなり
寮生よ再び楡影に
三十年後に集わなん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十四年寮歌

うす紅の

鶴原文孝君 作歌

高田和重君 作曲

昭和五十四年寮歌

うす紅の

鶴原文孝君 作歌

高田和重君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十四年寮歌

うす紅の

鶴原文孝君 作歌
高田和重君 作曲

一

うす紅(くれない)の秋(あき)ゆうぐれに
滅(ほろ)びの風(かぜ)は吹(ふ)き荒(すさ)ぶ
斜陽(しゃよう)かげ射(さ)す日(ひ)に移(うつ)ろいて
傾(かたぶ)く姿(すがたいた)痛ましく
我(わ)が胸(むね)に満(み)つ過(い)にし日(ひ)の映(は)え
懐(おも)いは恵迪(けいてき)と共(とも)に

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和五十四年寮歌

うす紅の

鶴原文孝君 作歌
高田和重君 作曲

二

うす紫(むらさき)の冬(ふゆ)あけどきに
透(す)みわたる風底凍(かぜそここお)る
もの音絶(おとた)えて冷(つめ)たく寒(さむ)く
暗(くら)くも映(はゆ)る空(むな)しさに
倒(たお)れゆくもの今(いま)この時(とき)に
想(おも)いは恵迪(けいてき)と共(とも)に







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十四年寮歌

うす紅の

鶴原文孝君 作歌
高田和重君 作曲

三

うす靄(もや)けぶる春(はる)あけぼのに
昔日(せきじつ)の影(かげ)たゆたい惑(まど)う
されど緑(みどり)はまだ若(わか)くして
咲(さ)き初(そ)む花(はな)の望(のぞみ)もて
新(あたら)しき日(ひ)のかげろい浮(う)かぶ
憧(あこが)れ恵迪(けいてき)と共(とも)に



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和五十四年寮歌

うす紅の

鶴原文孝君 作歌
高田和重君 作曲

四

うす花(はな)いろの夏(なつ)よい闇(やみ)に
たまゆら風(かぜ)はさわやけし
我(わ)が宴(うたげ)にも星降(ほしふ)る幸(さち)と
歌(うた)う寮友(とも)らの嬉(うれ)しさに
憩(いこ)える帆(ほ)にも希(おも)いありたし
夢(ゆめ)こそ恵迪(けいてき)と共(とも)に







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十四年寮歌

うす紅の

鶴原文孝君 作歌
高田和重君 作曲

五

うつろう四季(とき)に感慨(おもい)をこめて
朽(く)ちゆくものを見(み)つめつつ
いまだ乾(かわ)かぬ血涙(けつるい)をもて
ただひたすらに祈(いの)り捧(ささ)ぐ
唯一真実(しんじつ)の迪(みち)を残(のこ)さむ
想(おも)いは恵迪(けいてき)を永遠(とわ)に
希(おも)いは恵迪(けいてき)よ永遠(とわ)に



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北に生まれし者たちよ
北に出会いし者たちよ
北に奢れる者たちよ
北に歌える者たちよ
永遠に祈りし朝は未だかなわず
百年に織りたる衣は
当に引き裂かれんとす
嗚呼願わくば二度糸を紡ぎて
限りなく澄みわたる
穹北の空に舞わん

北に生まれし者たちよ
北に出会いし者たちよ
北に奢れる者たちよ
北に歌える者たちよ

永遠(とわ)に祈(いの)りし朝(あさ)は未(いま)だかなわず
百年(ももとせ)に織(お)りたる衣(きぬ)は
当(まさ)に引(ひ)き裂(さ)かれんとす
嗚呼(ああ)願(ねが)わくば二度(ふたたびいと)糸を紡(つむ)ぎて
限(かぎ)りなく澄(す)みわたる
穹北(きゅうほく)の空(そら)に舞(うた)わん

昭和五十五年寮歌

楡は枯れず

新井桂二君 作歌

奥田和人君 作曲

昭和五十五年寮歌

楡は枯れず

新井桂二君 作歌

奥田和人君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十五年寮歌

楡は枯れず

新井桂二君 作歌
奥田和人君 作曲

一

朝靄(あさもや)けむる今(いま)ひとときの
熟寝(うまい)の夢(ゆめ)の幸(しあわ)せよ
覚(さ)めて現(うつつ)に見渡(みわた)せば
美(び)は崩(くず)れゆく北都(ほくと)なり
天空(てんくう)常(つね)に雲抱(くもいだ)けども
楡(エルム)は萌(も)えて大地(ち)をまねく

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和五十五年寮歌

楡は枯れず

新井桂二君 作歌
奥田和人君 作曲

二

清冽の野に道を耕し
荒野に明日を信じつつ
彷徨い行ける寂しさに
陽は傾きて我を見る
虚いゆける時にこそ
楡は映えて風を斬る







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十五年寮歌

楡は枯れず

新井桂二君 作歌
奥田和人君 作曲

三

北(きた)の自然(しぜん)は蝕(むし)ばまれゆき
青葉(あおば)の降(ふ)るや青春(はる)の寮庭(にわ)
忘(わす)るるなかれ大願(たいがん)を
胸(むね)に秘(ひ)めし涙痕(るいこん)を
時(とき)は人(ひと)はと変(か)われども
楡(エルム)は枯(か)れず空(そら)をさす



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ



昭和五十六年寮歌

汝と我の

山根誠君 作歌

長谷部健君 作曲

昭和五十六年寮歌

汝と我の

山根誠君 作歌

長谷部健君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十六年寮歌

汝と我の

山根誠君 作歌

長谷部健君 作曲

一

よすがなき姿も見せぬ郭公を
捜せしは誰ぞ汝と我の瞳なり
草いきれ燃えたつ野にて戯れぬ
獣らは誰ぞ汝と我の姿なり
原始林と古屋を覆いたる
邪なものめぐる世に
正義の想い何処にか
汝と我の胸にあり







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十六年寮歌

汝と我の

山根誠君 作歌

長谷部健君 作曲

三

降りつもる雪に太古の巨象を
描きしは誰ぞ 汝と我の感傷なり
夜もすがら思い乱れる若人を
見つめしは誰ぞ 汝と我の恵迪なり
天宙駆ける参星の
幽けき光仰ぎ見て
語りしことば何処にか
汝と我の胸にあり







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十七年寮歌

東雲はるか

青木崇君 作歌

栗田成裕君 作曲

昭和五十七年寮歌

東雲はるか

青木崇君 作歌

栗田成裕君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十七年寮歌

東雲はるか

青木崇君 作歌

栗田成裕君 作曲

一

東雲(しののめ)はるか異郷(いきょう)の地(ち)
凌雲(りょううん)の夢馳(ゆめは)せ巡(めぐ)る
真理(まこと)の迪(みち)は険(けわ)しくも
寮友(とも)よ力(ちから)を一(いつ)にせん
熱(あつ)き血潮(ちしお)は冷(さ)めやらず







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十七年寮歌

東雲はるか

青木崇君 作歌

栗田成裕君 作曲

二

繁る夏草風渡り
悲しみ隠す昼下り
故なき暴虐忘るまじ
寮友よ怒りを一にせん
熱き血潮は冷めやらず







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十七年寮歌

東雲はるか

青木崇君 作歌

栗田成裕君 作曲

三

蜷(ひぐらし)　うたう原始林(げんしりん)

木洩(こも)れ陽(び)ふるう夕(ゆう)まぐれ

思(おも)い乱(みだ)れて暮(く)れる日(ひ)は

寮友(とも)よ祈(いの)りを一(いつ)にせん

熱(あつ)き血潮(ちしお)は冷(さ)めやらず







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十七年寮歌

東雲はるか

青木崇君 作歌

栗田成裕君 作曲

四

闇(やみ)の彼方(かなた)の楡木立(にれこだち)
灯(ともしび)透(す)かす青葉蔭(あおばかげ)
そぞろ歩(ある)きにふるう月(つき)
寮友(とも)よ歩(あゆ)みを一(いつ)にせん
熱(あつ)き血潮(ちしお)は冷(さ)めやらず







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十七年閉寮記念寮歌

寮友よ永遠に謳歌わん

植木貴昭君 作歌

串田厚司君 作曲

昭和五十七年閉寮記念寮歌

寮友よ永遠に謳歌わん

植木貴昭君 作歌

串田厚司君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十七年閉寮記念寮歌

寮友よ永遠に謳歌わん

植木貴昭君 作歌
串田厚司君 作曲

一

早緑の道駆けし我
小川に映る延齢の花
今この時の憧憬に
はるか千嶂仰ぎ見ん
心の静庵ここにあり
我が夢馳せし夕暮れに
明日の旅路を想いなん

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和五十七年閉寮記念寮歌

寮友よ永遠に謳歌わん

植木貴昭君 作歌
串田厚司君 作曲

二

北陵の夏歩む我
今咲きそろううす影のリラ
熱き涙のほとばしり
正義の道を貫かん
我等が誇る自治の魂
清雅にはゆる星よりも
深遠にして無限なれ



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和五十七年閉寮記念寮歌

寮友よ永遠に謳歌わん

植木貴昭君 作歌
串田厚司君 作曲

三

吹雪(ふぶき)の中(なか)に立(た)てし我(われ)
原始(げんし)の森(もり)に先人(せんじん)のかげ
盃(さかずき)かわす寮友(ともどち)と
過(す)ごせし日々(ひび)の感激(かんげき)よ
我等(われら)が道(みち)のしるべなり
我(わ)が春遠(はるとお)き北都(ほくと)にも
誓(ちか)いの絆(きずな)永遠(とこしえ)に



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

凍てつきし氷の路も溶けはじめ、
見はるかす山に白雪消ゆる頃
集い来し百と四十の若人は
故郷も親も銭もなく
恃むは己の仁侠ばかり
然れども新たな舎りの恵迪は
五層六刃の白亜城
夜も希望の灯は消さず、
棲むは豪傑酒乱の徒
さあ来いさあ来い恵迪へ
北都に築かん我等が自治寮

昭和五十八年寮歌

寮生の道

泉進介君 作歌

島倉朝雄君 作曲

（※ 前口上は島倉朝雄君の作による）

昭和五十八年寮歌

寮生の道

泉進介君 作歌

島倉朝雄君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十八年寮歌

寮生の道

泉進介君 作歌

島倉朝雄君 作曲

春（四月）

ちょいとそこ行く新入寮生(りょうせい)さん
明日(あす)は我身(わがみ)か知(し)らねども
大酒(おおざけ)くらって逆噴射(ぎゃくふんしゃ)
これぞ寮生(おとこ)の生(い)きる道(みち)



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十八年寮歌

寮生の道

泉進介君 作歌

島倉朝雄君 作曲

夏（八月）

ちょいとそこ行く寮生さん
弊衣破帽に食糧難
両親の顔が眼に浮かぶ
これぞ寮生の生きる道







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十八年寮歌

寮生の道

泉進介君 作歌

島倉朝雄君 作曲

秋（十月）

ちょいとそこ行く寮生さん
尻に赤フン巻きつけて
狂喜乱舞す交差点
これぞ寮生の生きる道



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十八年寮歌

寮生の道

泉進介君 作歌

島倉朝雄君 作曲

冬（二月）

ちょいとそこ行く寮生さん
ジャンプ大会　変態か
花の女子大　赤面す
これぞ寮生の生きる道







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十八年寮歌

寮生の道

泉進介君 作歌

島倉朝雄君 作曲

まとめ

ちょいとそこ行く寮生さん
クラーク精神胸に秘め
天下の北大　恵迪でもつ
これぞ寮生の生きる道







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十八年新寮記念寮歌

北に恵めし

大崎益孝君 作歌

竹中秀文君 作曲

昭和五十八年新寮記念寮歌

北に恵めし

大崎益孝君 作歌

竹中秀文君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十八年新寮記念寮歌

北に恵めし

大崎益孝君 作歌
竹中秀文君 作曲

一

北に恵めし若き日の夢
いつかは壊れゆくものか
すがしき朝の光と風は
原始の森に消え去りぬ
今こそ我も旅立ちの時
心の宿よいざさらば







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十八年新寮記念寮歌

北に恵めし

大崎益孝君 作歌
竹中秀文君 作曲

三

北の原野を流離い行けば
淡き花影さゆらぎぬ
今も変らぬその涼風に
昔の光偲ばずや
流れる雲に孤り謳えば
果てなく夢は何処までも







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十八年新寮記念寮歌

北に恵めし

大崎益孝君 作歌
竹中秀文君 作曲

三

北(きた)を望(のぞ)みし岬(みさき)に立(た)てば
うち寄(よ)す波(なみ)は静(しず)かなり
されど遙(はろ)けき今樺太(いまサハリン)の
色(いろ)めく空(そら)を憂(うれ)い眺(み)ん
功利(こうり)し多(おお)きこの人(ひと)の世(よ)に
誠(まこと)の迪(みち)を貫(つらぬ)かん

北海道大学 恵迪寮

Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十九年寮歌

雪の白さに

濱田和雄君 作歌

青木毅君 作曲

昭和五十九年寮歌

雪の白さに

濱田和雄君 作歌

青木毅君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十九年寮歌

雪の白さに

濱田和雄君 作歌

青木毅君 作曲

一

雪の白さに映ゆる我等が恵迪寮
吹雪逆巻く日もあれど
正義の迪を見定めて
真実求むは風の教へなり







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十九年寮歌

雪の白さに

濱田和雄君 作歌

青木毅君 作曲

二

土の黒さに萌ゆる新たな芽が一つ
雨風寒さに怯ゆるとも
宴討論酔ひしれて
恵迪に根づくは土の教へなり







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十九年寮歌

雪の白さに

濱田和雄君 作歌

青木毅君 作曲

三

空の青さに育つみんなの自治意識
熱風日干の害あれど
理想高く足は大地につきて
汗を流すは陽の教へなり







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和五十九年寮歌

雪の白さに

濱田和雄君 作歌

青木毅君 作曲

四

秋(あき)の疾風(はやて)に聳(そび)ゆ大(おお)きな林檎(りんご)の木(き)
頂上(いただき)の実(み)が墜(お)つるとも
その精神(こころ)もて糧(かて)として
自律目指(じりつめざ)すは生命(いのち)の教(おし)へなり







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十年寮歌

沈黙の杜に

角田勤君 作歌

佐々木徹也君 作曲

昭和六十年寮歌

沈黙の杜に

角田勤君 作歌

佐々木徹也君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十年寮歌

沈黙の杜に

角田勤君 作歌

佐々木徹也君 作曲

一

沈黙(しじま)の杜(もり)に春(しゅん)来(らい)告(つ)げる
芳香(かおり)馨(かぐわ)し辛夷(こぶし)の花(はな)よ
純白(しろ)き残雪(ざんせつ)未(いま)だ消(き)えやらず
永(なが)き寒冬(かんとう)偲(しの)ばるる哉(かな)

郷愁(きょうしゅう)胸(むね)に充(み)満つるとも
されど恵迪此処(けいてきここ)に在(あ)り







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十年寮歌

沈黙の杜に

角田勤君 作歌

佐々木徹也君 作曲

二

水恋鳥(みずこいどり)の哀(かな)しき聲(こえ)に
我故知(われゆえし)らず涙流(なみだなが)しぬ
短(みじか)き夏(なつ)と認識(し)りはすれども
樹々色(きぎいろ)づきてはや盛夏(なつ)逝(ゆ)きぬ
哀愁胸(あいしゅうむね)に充(み)ち満つるとも
されど憧憬(あこがれ)恵迪(こ)に在(あ)り



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ



昭和六十年寮歌

沈黙の杜に

角田勤君 作歌

佐々木徹也君 作曲

三

紅雲流(こううんなが)るる黄昏(たそがれ)どきに
夕細道(ゆうほそみち)は幽(かそ)か続(つづ)きて
何望(なにのぞ)むなく彷徨(さまよ)ひゆける
この現身(うつしみ)を悲哀(かな)しみにけり
愁心胸(しゅうしんむね)に充(み)満つるとも
されど青春(わかきひ)恵迪(こここ)に在(あ)り







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十年寮歌

沈黙の杜に

角田勤君 作歌

佐々木徹也君 作曲

四

雪舞ひ踊る白銀の世よ
天指す枝柯に樹氷咲く
数多群なす星座の中に
我に向いて天狼星光る
寂寥胸に充満つるとも
されど経営恵迪に在り







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十年寮歌

沈黙の杜に

角田勤君 作歌

佐々木徹也君 作曲

五

弛むことなく唯時は逝き
生きとし生けるものは去りゆく
其は人の世の眞理なれども
限れる生を燃やし尽さむ
追憶胸に充満つるとも
されど恵迪永遠に在れ

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

昭和六十一年度寮歌

陽春新しき

原澤辰明君 作歌

山森聡君 作曲

昭和六十一年度寮歌

陽春新しき

原澤辰明君 作歌

山森聡君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十一年度寮歌

陽春新しき

原澤辰明君 作歌

山森聡君 作曲

一

陽春(はるあたら)新しき希望(のぞみ)満つ
恵迪寮(やどり)に若き(わか)男子(おのこら)等が
野心(こころ)も赤き(あか)夕手稲(ゆうていね)
嗚呼(ああ)力(ちから)もて進(すす)まんか







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十一年度寮歌

陽春新しき

原澤辰明君 作歌

山森聡君 作曲

三

盛夏短かくてストームに
太鼓音闇に消えるかな
朝の日露に寮歌の声
嗚呼轟くかこの石狩平野







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十一年度寮歌

陽春新しき

原澤辰明君 作歌

山森聡君 作曲

三

夕暮風(ゆうぐれかぜ)の涼(すず)しさに
楡(にれ)の悲(かな)しみ知(し)れるかな
雁(かり)より暮(く)れる原始林(げんしりん)
嗚呼(ああ)我(わ)が憂(うれ)ひすずろかな







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十一年度寮歌

陽春新しき

原澤辰明君 作歌

山森聡君 作曲

四

北溟粉雪(ほくめいゆき)に荒(あら)ぶれど
詩(うた)を忘却(わす)れぬ若人(わこうど)が
理想(ロマン)の存在(ありか)求めつつ
嗚呼(ああ)その自治寮創造(とりできづ)くかな







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十二年度寮歌

北斗遥かに

佐久間朗君 作歌

吉田崇君 作曲

昭和六十二年度寮歌

北斗遙かに

佐久間朗君 作歌

吉田崇君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十二年度寮歌

北斗遙かに

佐久間朗君 作歌
吉田崇君 作曲

一

北斗遙かに広がれる
波濤煌く水平線
移り行く天水渡る朔風
厳冬の記憶を留めれど
新緑萌す曠野には
若き生命の息吹あり
嗚呼季節の芳香満つ
この北の大地に
新たなる夢を得て
希望かなえん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十二年度寮歌

北斗遥かに

佐久間朗君 作歌
吉田崇君 作曲

二

北斗清かに見はるかす
紺碧に滲む大空に
輝く光彩燦爛と
短き盛夏を彩りて
涼風そよぐ窓下には
緑滴る原始林
嗚呼季節の恵み満つ
この北の大地に
新しき情熱もて
真理求めん



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

昭和六十二年度寮歌

北斗遙かに

佐久間朗君 作歌
吉田崇君 作曲

三

北斗豊かに色づける
黄金色の大沃野
充足誘う黄昏に
遠く彼方を見渡せば
牧場を疾走る若駒の
荒土蹴散らすその雄姿
嗚呼季節の実り満つ
この北の大地に
新しき力得て
正義貫ぬかん



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

昭和六十二年度寮歌

北斗遙かに

佐久間朗君 作歌
吉田崇君 作曲

四

北斗果(ほくとは)てなく包(つつ)み込(こ)む
荒(すさ)び飛(と)び散(ち)る猛吹雪(もうふぶき)
物皆埋(ものみなうず)み凍(い)てつかせ
我(われ)らが前途閉(ゆくて)ざせども
ひたすら拓(ひら)くその迪(みち)に
放歌笑声絶(ほうかしょうせいた)ゆるなし

嗚呼(ああ)季節(きせつ)の憂愁(うれいみ)満つ
この北(きた)の大地(ち)に
新(あたら)しき意識(こころ)もて
自治(じち)を築(きず)かん

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

平成元年度寮歌

惡魔死す瞬間

宜寿次盛生君 作歌

田口拓君 作曲

平成元年度寮歌

惡魔死す瞬間

宜寿次盛生君 作歌

田口拓君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成元年度寮歌

惡魔死す瞬間

宜寿次盛生君 作歌

田口拓君 作曲

一

惡魔死(サタンし)す瞬間(ときなに)何を凝視(み)る
解(と)けざる呪鬼(のろいおにがしま)ケ島
北溟(ほくめい)の国(くに)この城(しろ)に
我旅立(われたびだ)ちの時(とき)を待(ま)つ

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ







平成元年度寮歌

惡魔死す瞬間

宜寿次盛生君 作歌

田口拓君 作曲

二

降(を)りたる魔王(まおう)荒(あ)れ狂(くる)ふ
若(わか)き生血(いきち)を吸(す)ひ　蘇(よみが)へる
西都(せいと)の異変(いへんわれし)我知らず
春欄漫(はるらんまん)に酔(よ)ひ狂(くる)ふ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成元年度寮歌

惡魔死す瞬間

宜寿次盛生君 作歌

田口拓君 作曲

三

祭終(まつりおわ)りて黄葉(もみじ)散り
暗雲広(あんうんひろ)がる秋(あき)の空(そら)
希望(きぼう)の東光(ひかり)恨(うら)みつつ
冬将軍(ふゆしょうぐん)が猛狂(たけくる)ふ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成元年度寮歌

惡魔死す瞬間

宜寿次盛生君 作歌

田口拓君 作曲

四

白銀(しろがね)の原(の)野(の)は静(しず)まりて
地獄転(じごくてん)じて黄泉(よみ)の国(くに)
野人(やじん)籠(こも)りて微睡(まどろ)みて
今旅立(いまたびだ)ちの春(とき)を待(ま)つ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成二年度寮歌

我楡陵に

―春行秋哀―

木村政明君 作歌

田口拓君 作曲

平成二年度寮歌

我楡陵に

―春行秋哀―

木村政明君 作歌

田口拓君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成二年度寮歌

我楡陵に

―春行秋哀―

木村政明君 作歌
田口拓君 作曲

一

足引(あしび)きの手稲(ていね)の峰(みね)よ
遙(はる)けくも偉大(いだい)なるかな
厳(おごそ)かに夕陽(ゆうひ)は沈(しず)み
山際(やまぎわ)に映(は)えては著(しる)し
黄昏(たそがれ)の山並(やまなみ)を愛(め)ず
稜線(りょうせん)の美(うつく)しさ永遠(とわ)に

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

平成二年度寮歌

我楡陵に

―春行秋哀―

木村政明君 作歌

田口拓君 作曲

二

人の世は移ろいやすく
今日の夢明日は空しき
されど葉の散る梢には
潜みたり次代の若芽
ああ友よ理想の世界
いつの日か成るを夢見む







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成二年度寮歌

我楡陵に

―春行秋哀―

木村政明君 作歌

田口拓君 作曲

三

並木路(なみきじ)は黄金(こがね)に映(は)えて
秋(あき)の日(ひ)の愁(うれ)いを誘(さそ)う
人気(ひとけ)無(な)き小道(こみち)歩(ある)かば
胸(むね)に湧(わ)け孤高(ここう)の思(おも)い
風(かぜ)に舞(ま)え飄飄(ひょうひょう)学徒(がくと)
いざ守(まも)らむ真理(しんり)の灯(ともしび)







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成二年度寮歌

我楡陵に

―春行秋哀―

木村政明君 作歌

田口拓君 作曲

四

瞬(またた)くは北斗(ほくと)の星(ほし)か
我進(わがすす)む道(みち)を照(て)らさむ
仰(あお)ぎ見(み)む悠久(ゆうきゅう)の天(てん)
思(おも)わずや遠(とお)き故郷(ふるさと)
夢若(ゆめわか)き春(はる)の旅路(たびじ)よ
我楡陵(わがおか)に清(きよ)き花咲(はなさ)け







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成三年度寮歌

若芽の出づる

柴田一君 作歌・作曲

平成三年度寮歌

若芽の出づる

柴田一君 作歌・作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成三年度寮歌

若芽の出づる

柴田一君 作歌・作曲

一

若芽(わかが)の出(い)づる早春(そうしゅん)に
孤影(こえい)も辞(じ)せぬ若人(わこうど)の
尖風躰(せんぷうたい)を貫(つらぬ)けば
漲(みなぎ)る大志(たいし)の息吹(いぶき)有(あ)り







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成三年度寮歌

若芽の出づる

柴田一君 作歌・作曲

四

氷雪猛る厳冬は
心膽練磨の時節かな
烈風大地を劈けど
揺るがぬ我らがこの宿居







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成四年度寮歌

熱き街

美濃成夫君 作歌・作曲

平成四年度寮歌

熱き街

美濃成夫君 作歌・作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成四年度寮歌

熱き街

美濃成夫君 作歌・作曲

一

熱き街 冬まだ見ぬ若草よ
丘に騒く黄の芝の
声を勝利歌に
開ける野心は路の上
原始林をつらぬく







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成四年度寮歌

熱き街

美濃成夫君 作歌・作曲

二

寄する闇俺の樹はつぶれない
忍びよる業の糧も
鎧袖一触す
積雲に箕微笑む月の面に
孤り気を吐く



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成四年度寮歌

熱き街

美濃成夫君 作歌・作曲

三

覇(は)する壁(かべ) 水晶(すいしょう)降(ふ)る明(あ)けの街(まち)
静寂(せいじゃく)の暴君(きみ)座(ざ)すれども
生(せい)をみごもる
珠(たま)のはじける日も近(ちか)し
息(いき)を潜(ひそ)めよ



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成四年度寮歌

熱き街

美濃成夫君 作歌・作曲

四

熱き街(あつまち) 俺(おれ)の名(な)は恵迪寮(けいてきりょう)
四山(しざん)を震(ふる)わす四股(しこ)の音(ね)に
煩悩(なやみ)は吹(ふ)き散(ち)る
目線(まなざし)めざすは天下一(てんかいち)
迪(みち)を極(きわ)めよ



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成五年度寮歌

今日の寮歌（うた）

小川太郎君 作歌

柳谷信吾君 作曲

平成五年度寮歌

今日の寮歌（うた）

小川太郎君 作歌

柳谷信吾君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成五年度寮歌

今日の寮歌

小川太郎君 作歌
柳谷信吾君 作曲

一

今日はワシらが風呂掃除
溜まりに溜まった水垢を
何度も何度も擦り落とす
背中を互いに流しあい
湯船につかりて寮歌唸る



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成五年度寮歌

今日の寮歌

小川太郎君 作歌
柳谷信吾君 作曲

二

今日のエッセン尋ぬれば
鳥とドンコと里芋と
人参玉ねぎ煮染めなり
喰らふは同じ釜の飯
笑いも絶えぬこの団居



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成五年度寮歌

今日の寮歌

小川太郎君 作歌
柳谷信吾君 作曲

三

今日の議論は長かった
今や褥に突っ伏さん
窓の外には初冠雪
夜も白みて鳥は啼き
紫雲に明けは染みていく







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成五年度寮歌

今日の寮歌

小川太郎君 作歌
柳谷信吾君 作曲

四

今日の飲みは遺跡の地
夜空に瞬く星の海
安焼酎を酌み交わし
男と男が涙する
ここが恵迪俺がやる







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成七年度寮歌

六華ぞ恋に

宇野直哉君 作歌

永田将人君 作曲

平成七年度寮歌

六華ぞ窓に

宇野直哉君 作歌

永田将人君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成七年度寮歌

六華ぞ窓に

宇野直哉君 作歌
永田将人君 作曲

一

六華(りっか)ぞ窓(まど)に刻(きざ)まれる
灯灯(ひび)ともされて
家家(いえいえ)の街(まち)に散(ち)るほど
まみえんとすは
迷走(めいそう)の士(し)と初(うい)なる乙女(おとめ)
鈍(にぶ)き銀(ぎん)なる空(そら)の下(した)
暖(あたた)かき片隅求(かたすみもと)むる若人等(わこうどら)

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

平成七年度寮歌

六華ぞ窓に

宇野直哉君 作歌
永田将人君 作曲

五

残照長く尾を引けば
安らぎ満ちて夜の声
さらば我らが土中の碧の
その重みこそ出会いし歓喜
新たな一歩しるしつつ
忘るまじ清き
華かなる憧れを

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

平成八年度寮歌

若き力

長谷川健君 作歌

石井英一君 作曲

平成八年度寮歌

若き力

長谷川健君 作歌

石井英一君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成八年度寮歌

若き力

長谷川健君 作歌
石井英一君 作曲

一

高鳴る胸の血潮巻く
熱い情熱に身をまかす
ただその意気を信じつつ
堂々迪を拓きゆく
我は泰山北斗の身







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成八年度寮歌

若き力

長谷川健君 作歌
石井英一君 作曲

二

彼何者ぞ(かれなにもの) 何(なに)かある
我(わ)が若き力(わか ちからふんき)奮起せば
鎧袖一触(がいしゅういっしょくち)地に砕(くだ)き
天(てん)にも響(ひび)け「嗚呼(ああ)バンカラ！」
憂(うれ)い忘(わす)れよ杯(つき)を酌(く)め







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成八年度寮歌

若き力

長谷川健君 作歌
石井英一君 作曲

三

希(のぞ)みは高(たか)しけつ青(あお)し
芙蓉万里(ふようばんり)の風(かぜ)を待(ま)ち
しばしおさめしこの翼(つばさ)
雄図(ゆうと)を胸(むね)に刻(きざ)みたる
鴻鵠(こうこく)の志(し)をだれ知(し)るや



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

流転行路に我仰ぎ見る
桃色空に龍の雲
我昇龍の夢に入る……

平成九年度寮歌

昇龍の夢

長谷川健君 作歌

石井英一君 作曲

平成九年度寮歌

昇龍の夢

長谷川健君 作歌

石井英一君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成九年度寮歌

昇龍の夢

長谷川健君 作歌
石井英一君 作曲

霞(かすみ)こめ雄(たけ)き林(はやし)を抜(ぬ)け出(い)でて
辿(たど)り着(つ)きし我(わ)がふるさとの
垣根(かきね)は山河陽(さんがひ)はおちて
大(おお)いなる水海(うみ)に月映(つきは)ゆる
ふるきよき力強(ちからづよ)きふるさとに
はぐくまれし嗚呼(ああ)我(われ)は
不壊(ふえ)の哲(おも)い引(ひ)き提(さ)げて
龍(りゅう)のごとくに昇(のぼ)りゆく

北海道大学恵迪寮

Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成九年度寮歌

昇龍の夢

長谷川健君 作歌
石井英一君 作曲

しかれどもいつしか其れも身を移し
昔を偲ぶ此の我に
時の流れを感じつつ
今あたりを見渡せば
新しき世界の広がり 新しき
ものここに見て我想う
「彼の哲い引き提げて
若き力で昇りゆけ」
ふと仰ぎ見る 紅空に
龍の雲は形くずし流れゆく







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十年第九十回記念祭歌

天地人

一谷英樹君 作歌

長谷川健君 作曲

平成十年第九十回記念祭歌

天地人

一谷英樹君 作歌

長谷川健君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十年第九十回記念祭歌

天地人

一谷英樹君 作歌
長谷川健君 作曲

一

紅天(こうてん)かなた　大鷲舞(おおわしま)いて
茜(あかね)さす朝(あさ)　陽(ひ)も映(は)ゆる
天(てん)より落(お)つる　カムイの瀑布(ばくふ)
地(ち)に轟(とどろ)くや
夜気高(やきたか)まりて　銀漢(ぎんかん)の群星(ほし)
きらめくや
北天望(ほくてんのぞ)み　九十路(ここのそじ)
大(おお)いなる　能力(ちから)求(もと)めん



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十年第九十回記念祭歌

天地人

一谷英樹君 作歌
長谷川健君 作曲

二

聳ゆ連峰 果て無き眺望
猛き心を 駆き立てぬ
北嶺の樹海 深遠成して
我を呑み込む
無限緑野 静寂の中に
満月と飲む
北土佇み 九十路
澄み渡る 瞳視つめよ



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十年第九十回記念祭歌

天地人

一谷英樹君 作歌
長谷川健君 作曲

三

臥竜の牙　深淵潜み
鳳雛の翼　時機を待つ
誇り語れり　現在記念祭
奮起飛び出でよ
我らが魂　はや九十路
沸き立たん
青人満ちて　九十路
狂おしき　滾りほとばせ



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十年度寮歌

生命萌え出で

小日山輝泉君 作歌

長谷川健君 作曲

平成十年度寮歌

生命萌え出で

小日山輝泉君 作歌

長谷川健君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十年度寮歌

生命萌え出で

小日山輝泉君 作歌
長谷川健君 作曲

一

生命萌え出で輝く楡陵に
真白の翼蒼空高く舞う
仮寝の宿に我が身はあれど
風行く先に心は駆ける



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十年度寮歌

生命萌え出で

小日山輝泉君 作歌
長谷川健君 作曲

二

謳歌(うた)いて暮(く)れる 晩秋(ばんしゅう)の夜(よる)
篝火(かがりび)染(そ)める 紅(くれない)の頬(ほお)
今(いま)燃(も)え上(あ)がる 一瞬(ひととき)の夢(ゆめ)
我達(われら)の滾(たぎり) 夜空(よぞら)を焦(こ)がす

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

平成十年度寮歌

生命萌え出で

小日山輝泉君 作歌
長谷川健君 作曲

三

凍(い)てつきし原始林(もり) 髪凍(くしこお)る小路(みち)
聞(き)こゆるはただ 白雪(はくせつ)の声(こえ)
大地清(だいちきよ)める 白銀(しろがね)の露(つゆ)
眠(ねむ)る若芽(わかが)は 何(なに)をか夢(ゆめ)む

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

平成十年度寮歌

生命萌え出で

小日山輝泉君 作歌
長谷川健君 作曲

四

雪残る春 寮友の門出に
共に歩むは 月光の路
果て無く続く 指標無き旅
野心を胸に 進みて行かん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十一年度寮歌

清華の誓

荒木洋祐君　作歌

小出隆広君　作曲

平成十一年度寮歌

清華の誓

荒木洋祐君 作歌

小出隆広君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十一年度寮歌

清華の誓

荒木洋祐君 作歌
小出隆広君 作曲

一

雪舞う地平にひときわ映える
六華の紋ぞ我等が砦
野心は満ちて冬空焦がし
樹間の風は情熱を運ぶ
杯に写る未来をみよう
夜明かし語るこの今にこそ
カペラの叡智オリオンの武勇
天よ闇よ我等に賜え



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

平成十一年度寮歌

清華の誓

荒木洋祐君 作歌
小出隆広君 作曲

二

国を覆い地球を揺るがす
四百志士の夢よ醒めよ
太平洋にかかる橋にぞなれる
我等がゆくてに光あり
寮で培う時間を糧に
いざうちつれて歩み出そう
北の都に世紀はめぐり
清華の誓今ここに







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十二年度寮歌

若人よ

野路直之君 作歌

村中剛洋君 作曲

平成十二年度寮歌

若人よ

野路直之君 作歌

村中剛洋君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十二年度寮歌

若人よ

野路直之君 作歌
村中剛洋君 作曲

一

春風興せ我が若人よ
大地を君の色に染めよ
理知無かりしも血気注がば
光明の迪拓かれん

涙たぎりて白雲を流せば
満月も我等を讃へんや
一矢の猛りが青竜となりて
天に昇るは今この時ぞ



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十二年度寮歌

若人よ

野路直之君 作歌
村中剛洋君 作曲

二

使命は未だ君等が華ぞ
捧げよ汝が情熱
留まり酌みてただ人を待つ
尽きる事なき我が希望

涙たぎりて白雲を流せば
満月も我等を讃へんや
一矢の猛りが青竜となりて
天に昇るは今この時ぞ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十二年度寮歌

若人よ

野路直之君 作歌
村中剛洋君 作曲

三

別れは近く再会は遠し
巣立つ友等の愛しさよ
君の比翼の鳥となりたし
翔けめぐらんかな共に

涙たぎりて白雲を流せば
満月も我等を讃へんや
一矢の猛りが青竜となりて
天に昇るは今この時ぞ







寮歌 アプリ



北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十六年度寮歌

折れたポプラよ

高橋直樹君 作歌

山口駿君 作曲

平成十六年度寮歌

折れたポプラよ

高橋直樹君 作歌

山口駿君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十六年度寮歌

折れたポプラよ

高橋直樹君 作歌
山口駿君 作曲

一

折れたポプラよ
おまえは何を言わんとす
酒注ぎ交わし乾した夜の
見上げた月の傍らで
おまえの匂いが映らない
心配せなや友達よ
永久に変わらず継いでやる
たとえこの世が変われども
俺や寮友らが歌うだろう
生命の継ぎ目が終われども
心配せなや友達よ
お前は此処に生きている



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十六年度寮歌

折れたポプラよ

高橋直樹君 作歌
山口駿君 作曲

二

折れたポプラよ
おまえは何を言わんとす
緑が踊る夏の日も
茜に溶ける秋の日も
同じ生命を供にした
肩を組もうぞ友達よ
俺とお前は同じ土
側になくともその根が
歌声や思いを繋ぐだろう
その身朽ちゆく運命ども
肩を組もうぞ友達よ
次代がお前を芽吹くだろう

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

平成十六年度寮歌

折れたポプラよ

三

高橋直樹君 作歌
山口駿君 作曲

折れたポプラよ
おまえは何を言わんとす
別れの雪を踏みしめて
固め歩んだ迪の未来
春の色する夢なれや
供に称えん友達よ
思うは日々のいたずらか
過ごせる時間の限れるに
尽きぬ涙は言足りず
見つめる春は違えども
供に称えん友達よ
六華が我等照らすかな



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十七年度寮歌

遙かなる迪

加藤信泰君 作歌

福岡萌君 作曲

平成十七年度寮歌

遙かなる迪

加藤信泰君 作歌

福岡萌君 作曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十七年度寮歌

遙かなる迪

加藤信泰君 作歌
福岡萌君 作曲

一

繁滋(はんじ)なる
思(おも)いを秘(ひ)して 寮(まなびや)の
門(もん)をくぐりし若人(わこうど)は
意気試(こころため)され 育(はぐく)まれ
熱(あつ)き契(ちぎ)りの友(とも)を得(え)ん
楡(にれ)の若葉(わかば)曜(かがや)くごとく
遙(はる)かなる迪(みち)に根(ね)を張(は)らん







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十七年度寮歌

遙かなる迪

加藤信泰君 作歌
福岡萌君 作曲

二

時(とき)は過(す)ぎ
大地(つち)に根(ね)を張(は)る若芽(わかが)らは
思(おも)い託(たく)され懊悩(おうのう)しつつ
切磋琢磨(せっさたくま)し歩(あゆ)む毎(ごと)
寮(まなびやささ) 支える大樹(たいじゅ)とならん

祭(まつり)の燈火(あかりかがや) 燿くごとく
遙(はる)かなる迪(みち)を継(つ)ぎ行(ゆ)かん



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

平成十七年度寮歌

遙かなる迪

加藤信泰君 作歌
福岡萌君 作曲

三

何時(いつ)の日(ひ)か
此処(ここ)で学(まな)びしひとごとが
かけがえのない寶(たから)とならん
別(わか)るる友(とも)に思(おも)いを託(たく)し
旅立(たびだ)つ未来(さき)は暗(くら)くとも
雪野(ゆきの)に朝日(あさひ)耀(かがや)くごとく
遙(はる)かなる迪(みち)に出(い)で行(ゆ)かん



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

令和元年度寮歌

楡陵を仰いで

佐藤亮君 作歌・作曲

令和元年度寮歌

楡陵を仰いで

佐藤亮君 作歌・作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

令和元年度寮歌

楡陵を仰いで

佐藤亮君 作歌・作曲

一

嗚呼悠遠き日の燈よ
我らが自由を映しなん
今宵風が火を掠め
燭台鈍く声漏らし
枯れ蔓綻び覗かせて
仄かに蝋は細くなりゆく
されば問え己が心に
我が胸内は寮が誇りよ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

令和元年度寮歌

楡陵を仰いで

佐藤亮君 作歌・作曲

二

嗚呼悠遠き日の鞣物
流転の輝き放ちなん
嘗て疾風に先人は
掴み離さず此れを継ぎ
擦傷僅かに見ゆれども
威風今こそ我が手に至る
されば感ず時潮の想い
手に得し重み寮が誇りよ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

令和元年度寮歌

楡陵を仰いで

佐藤亮君 作歌・作曲

三

先人残せし貴き野心の
それにも優る縁在り
いづれ別れるその運命まで
囲み語らい己が未来創れ
楡陵の片隅我が故郷は
斯くあるべしと誰か言う



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

札幌農学校校歌

永遠の幸

大和田建樹氏 校閲

有島武朗君 作歌

納所弁次郎氏 選曲

札幌農学校校歌

永遠の幸

大和田建樹氏 校閲
有島武朗君 作歌
納所弁次郎氏 選曲







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

札幌農学校校歌

永遠の幸

大和田建樹氏 校閲
有島武朗君 作歌
納所弁次郎氏 選曲

一

永遠(とこしへ)の幸朽(さちく)ちざる誉(ほまれ)
つねに我等(われら)がうへにあれ
よるひる育(そだ)てあけくれ教(おし)へ
人(ひと)となしし我庭(わがにわ)に
イザイザイザイザ
うちつれて進(すす)むは今(いま)ぞ
豊平(とよひら)の川尽(かわつき)せぬながれ
友(とも)たれ永(なが)く友(とも)たれ



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

札幌農学校校歌

永遠の幸

大和田建樹氏 校閲
有島武朗君 作歌
納所弁次郎氏 選曲

二

北斗(ほくと)をつかんたかき希望(のぞみ)は
時代(とき)を照(てら)す光(ひかり)なり
深雪(みゆき)を凌(しの)ぐ潔(きよ)き節操(みさお)は
国(くに)を守(まも)る力(ちから)なり

イザイザイザイザ
うちつれて進(すす)むは今(いま)ぞ
豊平(とよひら)の川尽(かわつき)せぬながれ
友(とも)たれ永(なが)く友(とも)たれ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

札幌農学校校歌

永遠の幸

大和田建樹氏 校閲
有島武朗君 作歌
納所弁次郎氏 選曲

三

山(やま)は裂(さ)くとも海(うみ)はあすとも
真理正義(しんりせいぎ)おつべしや
不朽(ふきゅう)を求(もと)め意気相(いきあい)ゆるす
我等(われら)丈夫(ますらお)此(ここ)にあり
イザイザイザイザ
うちつれて進(すす)むは今(いま)ぞ
豊平(とよひら)の川尽(かわつき)せぬながれ
友(とも)たれ永(なが)く友(とも)たれ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正九年桜星会歌

瓔珞みがく

佐藤一雄君 作歌

置塩奇君 作曲

大正九年桜星会歌

瓔珞みがく

佐藤一雄君 作歌

置塩奇君 作曲



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正九年桜星会歌

瓔珞みがく

佐藤一雄君 作歌
置塩奇君 作曲

一

瓔珞（ようらく）みがく石狩（いしかり）の
源遠（みなもとほ）く訪（と）ひくれば
原始（げんし）の森（もり）は闇（くら）くして
雪解（ゆきげ）の泉玉（いずみたま）と湧（わ）く



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正九年桜星会歌

瓔珞みがく

佐藤一雄君 作歌

置塩奇君 作曲

二

浜茄子紅き磯辺にも（はまなすあかいそべ）
鈴蘭薫る谷間にも（すずらんかをるたにま）
愛奴の姿薄れゆく（あいぬのすがたうすれゆく）
蝦夷の昔を懐ふかな（えぞのむかしをおもふかな）







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正九年桜星会歌

瓔珞みがく

佐藤一雄君 作歌

置塩奇君 作曲

三

今円山(いままるやま)の桜花(さくらばな)
歴史(れきし)は旧(ふ)りて四十年(しじゅうねん)
吾(わ)が学(まな)び舎(や)の先人(せんじん)が
建(た)てし功(いさお)はいや栄(さか)ゆ







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正九年桜星会歌

瓔珞みがく

佐藤一雄君 作歌

置塩奇君 作曲

四

その絢爛(けんらん)の花霞(はながすみ)

憧憬(あこが)れ集(つど)ふ四百(よんひゃく)の

健児(けんじ)が希望(のぞみ)深(ふか)ければ

北斗(ほくと)に強(つよ)き黙示(もくし)あり







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

大正九年桜星会歌

瓔珞みがく

佐藤一雄君 作歌
置塩奇君 作曲

八

想(おもひ)を秘(ひ)めし若人(わこうど)が
唇(くちびる)かたくほほゑみつ
仰(あお)げば高(たか)く聳(そび)え立(た)つ
羊蹄山(ようていざん)に雪潔(ゆききよ)し







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

水産放浪歌

注 成立事情不明なるも蒙古放浪歌（仲田三孝作詞、川上義彦作曲）の換え歌と推定される。



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

水産放浪歌



Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

水産放浪歌

富貴名門の女性に恋するを
純情の恋と誰が言うぞ。
暗鬼紅灯の巷に彷徨う女性に
恋するを不情の恋と誰が言うぞ。
雨降らば雨降るもよし
風吹かば風吹くもよし
月下の酒場にて媚を売る女性にも
純情可憐なる者あれ。
女の膝枕にて一夜の快楽を
共に過さずんば
人生夢もなければ恋もなし。

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

水産放浪歌

響く雷鳴（とどろくらいめい）　握る舵輪（にぎるだりん）
睨むコンパス六分儀（にらむこんぱすろくぶんぎ）
吾ら海行く鷗鳥（われらうみゆくかもめどり）
さらば歌わん哉（さらばうたわんかな）
吾らが水産放浪歌（われらがすいさんほうろうか）







寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

水産放浪歌

一

心猛(こころたけ)くも鬼神(おにがみ)ならず
男(おとこ)と生(う)まれて情(なさけ)はあれど
母(はは)を見捨(みす)てて浪越(なみこ)えてゆく
友(とも)よ兄等(けいら)よ何時(いつ)また会(あ)わん

注 成立事情不明なるも蒙古放浪歌（仲田三孝作詞、川上義彦作曲）の換え歌と推定される。

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ

水産放浪歌

二

朝日夕日(あさひゆうひ)をデッキに浴(あ)びて
続(つづ)く海原一筋道(うなばらひとすじみち)を
大和男子(やまとおのこ)が心(こころ)に秘(ひ)めて
行(ゆ)くや万里(ばんり)の荒浪越(あらなみこ)えて

注 成立事情不明なるも蒙古放浪歌（仲田三孝作詞、川上義彦作曲）の換え歌と推定される。



Google Play で手に入れよう

App Store からダウンロード

寮歌 アプリ

北海道大学恵迪寮 寮歌集アプリ https://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mkuriki/phone/ryoka/

水産放浪歌

三

浪(なみ)の彼方(かなた)の南氷洋(なんぴょうよう)は
男多恨(おとこたこん)の身(み)の捨(す)てどころ
胸(むね)に秘(ひ)めたる大願(たいがん)あれど
行(ゆ)きて帰(かえ)らじ望(のぞ)みは待(も)たじ

注 成立事情不明なるも蒙古放浪歌（仲田三孝作詞、川上義彦作曲）の換え歌と推定される。

北海道大学 恵迪寮
Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード
寮歌 アプリ